

青葉会の児童発達支援及び放課後等デイサービス事業のご家族アンケートについて（令和5年7月実施）

社会福祉法人青葉会

青葉会では、ご家族のニーズを探るため、国が定めるガイドラインの評価表等による調査に加えて毎年ご家族に対してオリジナルなアンケート調査を実施してきています。

今年は、新しい事業所「第2ジュニアペガサス」も参加して、児童発達支援センター1事業所、放課後等デイサービス4事業所の利用者のご家族を対象に、同じ調査票を使ってアンケート調査をさせていただきました。ご協力に感謝申し上げます。

ここでは、皆様からいただいたご回答、ご意見をまとめた形でご報告をさせていただきます。全ての事業所で回収率が100%となりました。たくさんの貴重なご意見をありがとうございました。

事業所	配布数	回答数	回収率
ペガサス	34	34	100%
第2ペガサス	41	41	100%
ジュニアペガサス	50	50	100%
第2ジュニアペガサス	39	39	100%
リトルペガサス	64	64	100%
合計	228	228	100%

（注）重複あり。

これからも皆様に喜んでいただける楽しい活動を目指して取り組んでいきます。宜しくお願いします。

社会福祉法人青葉会
児童グループ職員一同

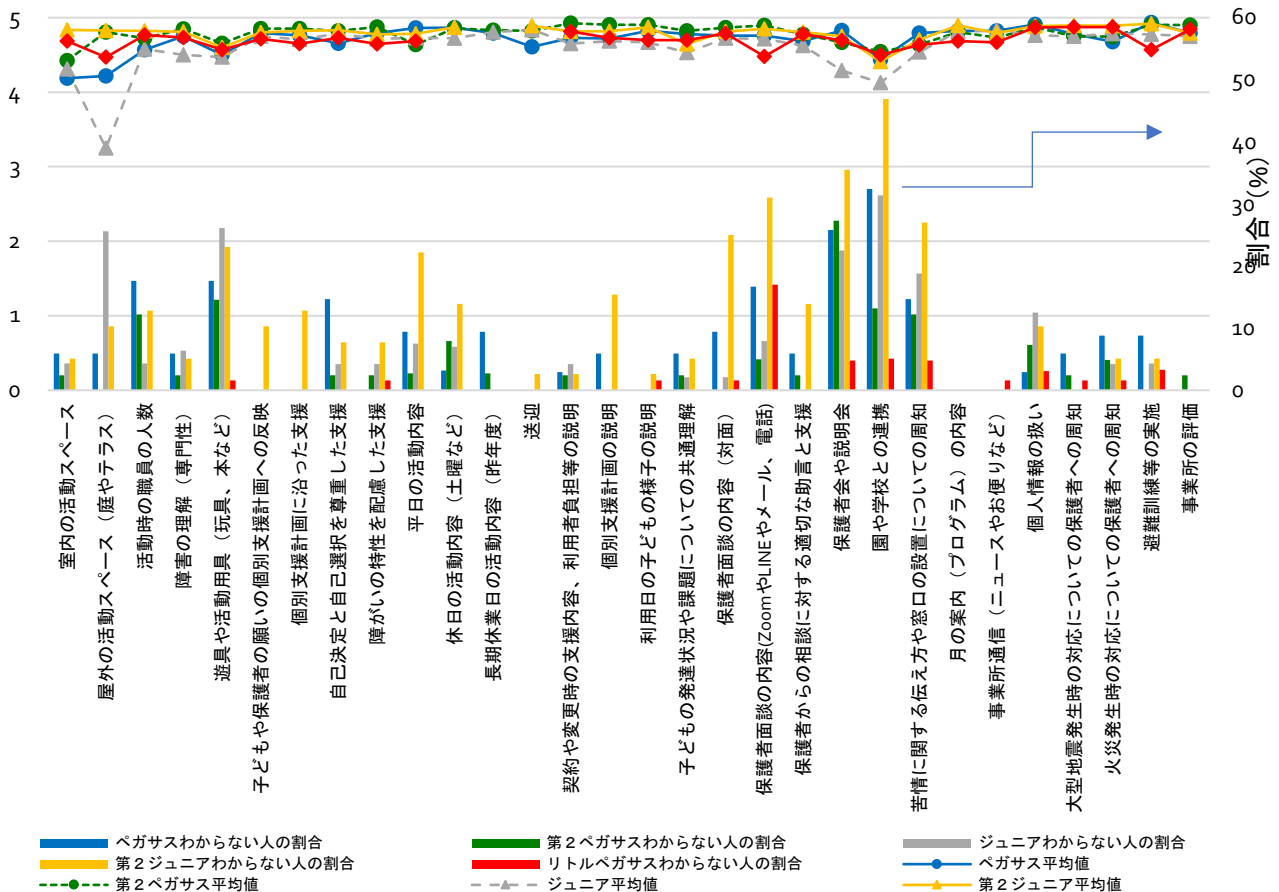
1. 今年度の事業所の活動

最初に、今年度の活動について満足度を尋ねました。回答の「不満」(1点)、「やや不満」(2点)、「どちらでもない」(3点)、「やや満足」(4点)、「満足」(5点)の平均点を出しました。「わからない」と回答した人の割合も合わせて示しました。考察は、各事業所の項で後述します。

全事業所ともに、いずれの項目においても比較的に高い評価をいただきました。

一方、今回も「苦情に対する対応」や「学校との連携」、「保護者会」、「遊具や活動用具」などの項目に「わからない」とする回答が多く見られました。新型コロナウイルス感染症の感染症法の位置付けが5類に変更されて2か月ほど経っての調査でしたが、これまでに保護者会や個別面談など、直接ご家族とお話をする機会が少なかったこと、第2ジュニアペガサスは開設して間もない時期のアンケート調査で活動や取組みについて周知しきれていなかったことも「わからない」の回答が多く見られた要因の一つとなっていると考えています。毎年、こういった「わからない」とする方の解消に向けて取り組んできていますが、改めて、ご家族への周知を工夫していかなければならないことが分かりました。

昨年度の後半から、個別支援計画における対面式での面談の再開とともに、事業所へ直接足を運ぶことが難しいご家族にも配慮した新しい試みとして、リトルペガサスでオンラインと対面のハイブリット形式で保護者会を開催させていただきました。今後、各事業所で感染対策を行いながら、個別支援計画の面談をはじめ、各種説明会や勉強会など、状況に応じながら直接お話し出来る機会を作っていきますのでご期待ください。



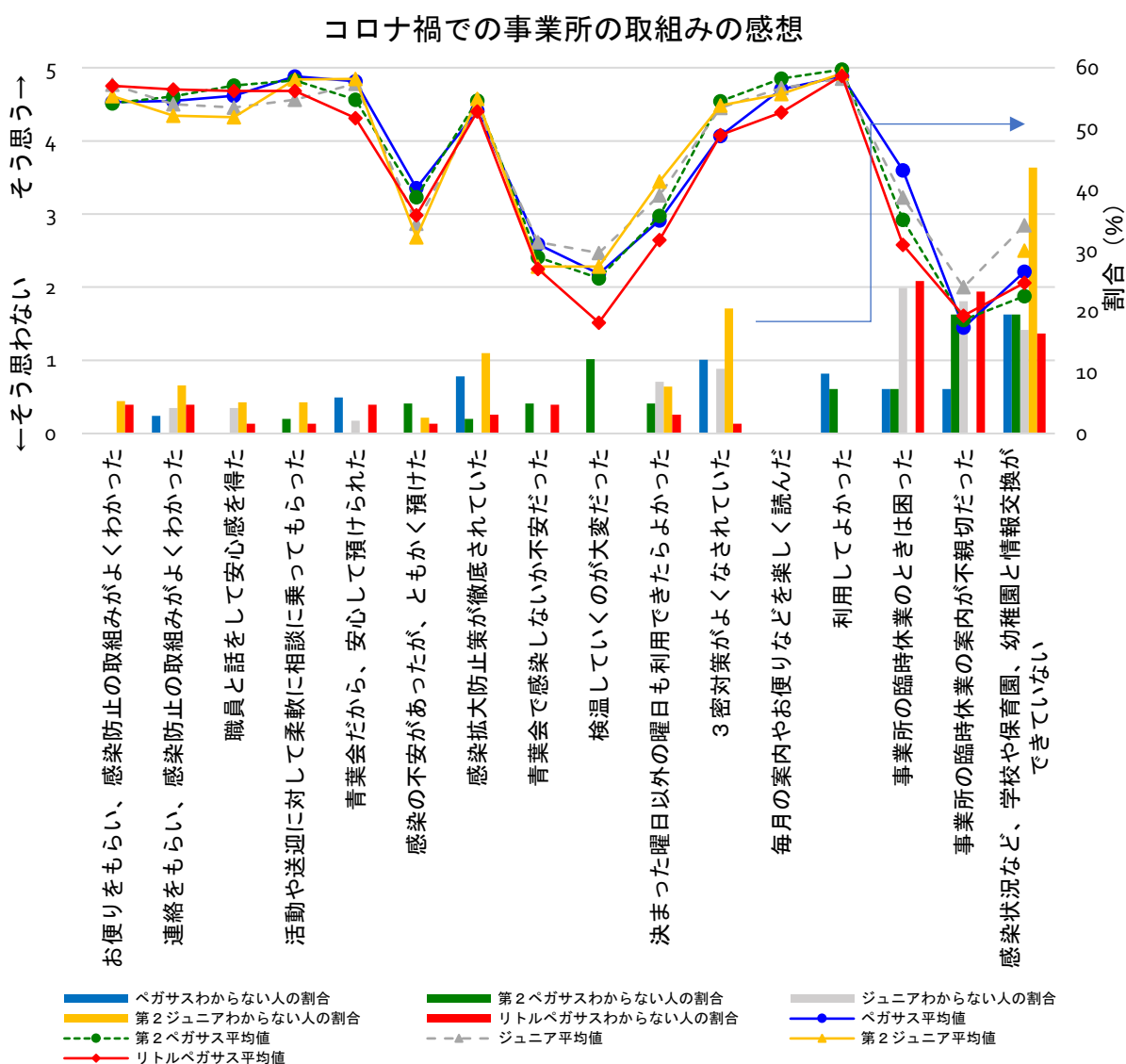
2. 昨年度からのコロナ禍での活動

(1) コロナ禍での活動

いずれの事業所においても、「利用してよかった」、「青葉会だから安心して預けられた」の項目に高い評価を得ており、各事業所のコロナ感染対策について概ね満足していただきました。

また、「活動や送迎に対して柔軟に相談に乗ってもらった」など各種の取組みに対しては、高い評価をいただいております。

一方、「事業所の臨時休業の時は困った」、「事業所の臨時休業の案内が不適切だった」、「感染状況など、学校や園と情報交換が出来ていない」の項目では、満足度が高かったとは言えず、「わからない」と回答された方も少なくありませんでした。新型コロナウイルス感染症の5類移行の影響もあり、臨時休業、学級閉鎖の機会が減ったことや、学校や園との情報のやり取りが5類移行前と比べて減少したと見なされていることも一因となっていると考えられます。事業所における説明や配慮が不十分であったと捉え、引き続きコロナ感染対策を徹底した上で、どのような対応が必要であり実行が可能なのか、随時検討しながら丁寧にご説明をまいります。



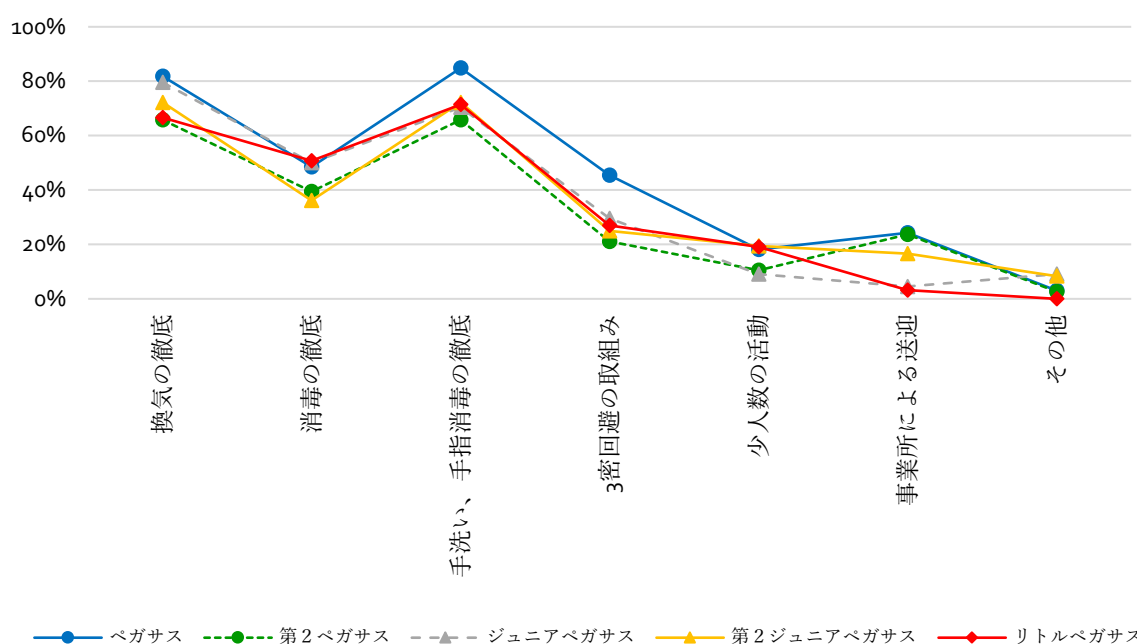
(2) 新型コロナ対策として青葉会の事業所への期待

青葉会の児童事業所のコロナ対策に対する期待度は、事業所によって期待される方の割合に若干の差が見られるものの、概ね同じ傾向を示しており、全ての事業所で「換気の徹底」及び「手洗い、手指消毒の徹底」に対して、昨年と同じく高い期待があることがわかりました。

一方で、全ての事業所で「消毒の徹底」及び「3密回避」に対する期待度が低くはないものの昨年度に比べて10%から20%程度減少しました。これは、調査を行った7月時点では、新型コロナウイルス感染症の5類移行の影響により危機意識が下がり、コロナ禍以前の活動に戻すことへの期待として推察しています。

残念ながら、この報告を書いている9月下旬では、新型コロナウイルス及びインフルエンザ等の感染症が広がり、5類移行前のような学級、学年閉鎖が増えてきています。引き続き、全事業所とともに、後期の活動でも、特に期待度が高かった「換気の徹底」及び「手洗い、手指消毒の徹底」だけでなく「消毒の徹底」、「3密回避」の徹底に努め、ご家族が安心して利用できるよう丁寧な対応を心がけていきます。

ペガサスは、いずれの対策においても、他事業所以上に期待する方の割合が高いことがわかりました。前項で「コロナ禍での取組みの感想」でもペガサスが取った対策に対して評価が高かったことと合わせて考察すると、ペガサスが講じている対策を一つの見本として、全ての事業所より丁寧な取組みに心がけていきたいと思えます。

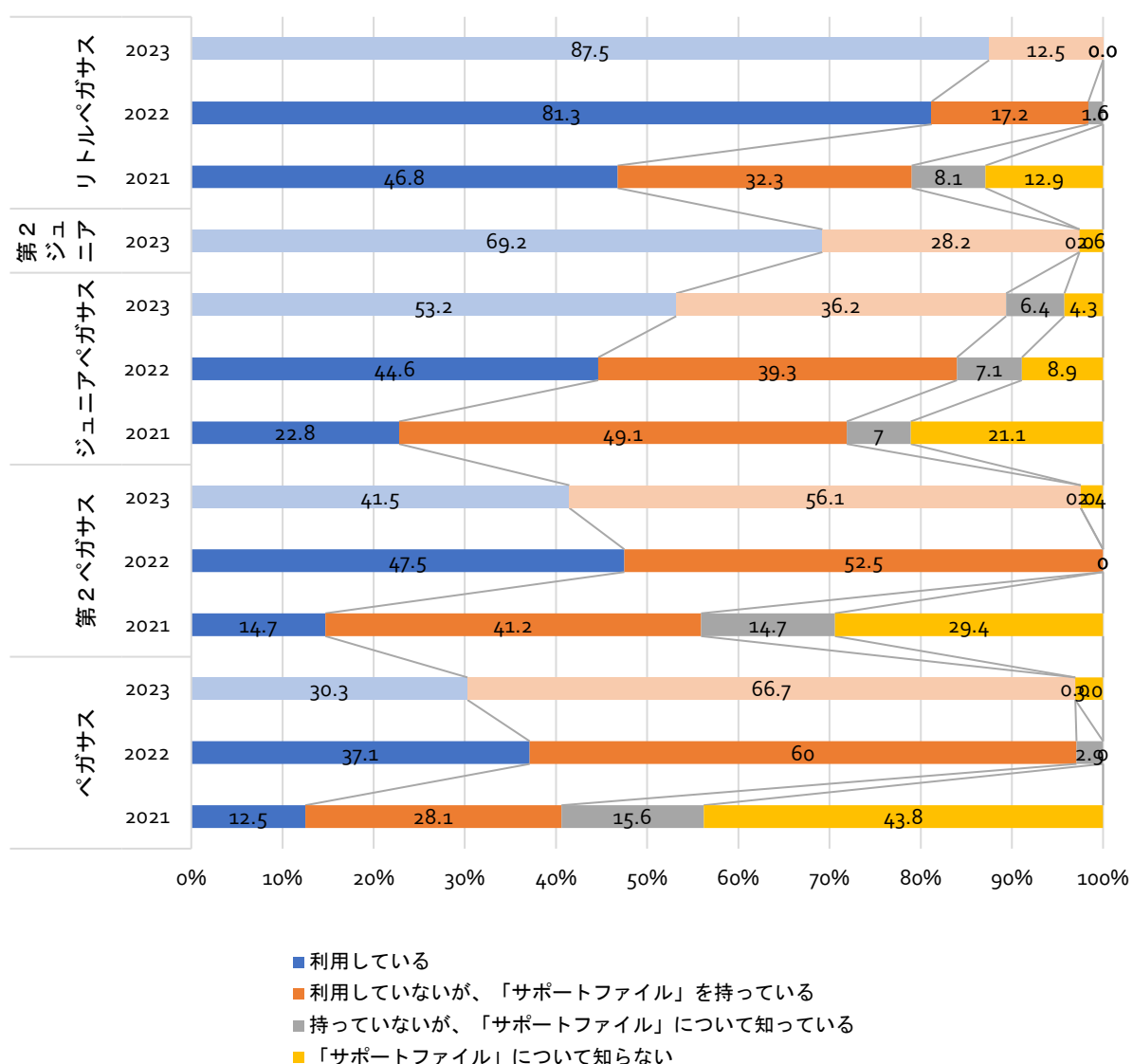


3. サポートファイル

(1) サポートファイルの利用

柏市では、障がいのあるお子さんや発達支援に配慮を必要とするお子さんを対象として「サポートファイル」の普及に取り組まれています。ご家族がお子さんの大切な成長の記録や医療・福祉サービスなどの利用に関する情報をサポートファイルにまとめて整理することで、お子さんの成長とともに、教育、医療、福祉の支援者が変わったときに、スムーズな引継ぎや情報伝達に役立つことを目指しています。しかし、この取り組みはスタートして10年以上が経ちましたが、まだまだ必要なお家族が利用されているとは言えません。

そこで、青葉会ではサポートファイルの利用に積極的に取り組む法人として、①個別支援計画の作成・提供は、2021年度後期個別支援計画からサポートファイルの利用推進の一環として取り組むこと、②面談時にサポートファイルを持参してもらい、個別支援計画をサポートファイルに綴っていただくこと、③職員とご家族の意識の乖離を埋めるため、毎年サポートファイルに関する意識調査の実施に取り組んでいくこととしました。



今回の結果は、早くから取り組んでいたリトルペガサスを除き、放課後等デイサービス 4 事業所は 2021 年度後期にスタートさせたサポートファイル推進の取組みから約 1 年半を経ってのものとなります。

リトルペガサスでは、「利用している」と回答された方が 81.3%から 87.5%に増え、「利用していないがサポートファイルを持っている」と回答された方が 17.2%から 12.5%に減りました。さらに、「持っていない」あるいは「知らない」と回答された方がいなくなり、完全にご家族に認知されたと言えます。リトルペガサスの次の目標は、全員に有効に使っていただくこととなります。

リトルペガサスの卒室児を受け入れているジュニアペガサスでは、「利用している」と回答された方が大きく増えて 53.2%となり、「利用していないが持っている」と回答された方も加えると、約 9 割のご家族に認知されてきたと言えます。また、今年から開所し、リトルペガサスの卒室児を受け入れている第 2 ジュニアペガサスでもリトルペガサスでの利用をそのまま反映した結果となり、「利用している」69.2%、「利用していないが持っている」28.2%と、合計するとほとんどのご家族が認知されていると言えます。ジュニアペガサス及び第 2 ジュニアペガサスは、リトルペガサスの卒室児が利用していることを考えると、リトルペガサスのレベル以上に有効に使っていただくことを目指していきます。

リトルペガサスの卒室児が少なく、特別支援学校の中学部や高等部の利用者もいるなど、青葉会のサポートファイルの取組みを開始するまではサポートファイルにあまり馴染のなかった放課後等デイサービスのペガサス、第 2 ペガサスは、ほぼ全員が「利用している」か「利用していないが持っている」となり、他の事業所と同じくほとんどのご家族に認知されるようになった一方で、「サポートファイルを利用している」と回答された方が減り、ペガサス 30.3%、第 2 ペガサス 41.5%となりました。個別面談の度に持参していただくように連絡をし、持参していただいたときには内容を確認したり、支援計画をその場で綴っていただいたり、様々な場面で活用している方のファイルを参考にして、記入や活用の仕方などを、これまで以上に丁寧にお伝えしていきます。

今回の調査から、各事業所での取組みにより一定の成果が出たものの、細かい部分への配慮が足りず、まだまだ全てのご家族までは浸透していないことがわかりました。引き続きサポートファイルの取組みを推進していきます。

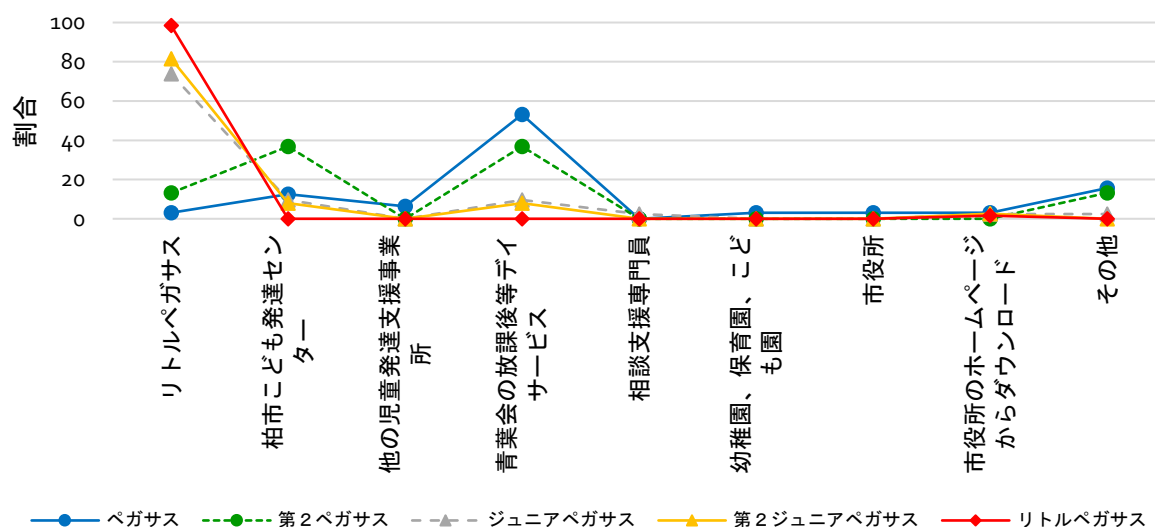
(2) サポートファイルを最初にもらったところ

就学前の子どもの支援を行っているリトルペガサス、そしてリトルペガサスの卒室児を受け入れているジュニアペガサス、第 2 ジュニアペガサスの回答者の多くが最初にサポートファイルをもらったところが「リトルペガサス」でした。

ペガサス、第 2 ペガサスでは、最初にもらったところで最も多かったのが「青葉会の放課後等デイサービス」、つまり 1 年半前にサポートファイルの取組みをスタートさせたのは自事業所であり、その割合が約 5 割となりました。第 2 ペガサスは、就学前に「柏市こども発達支援センター」を利用されている子どもたちも多く、他の事業所と異なり 36.8%の方が最初に「柏市こども発達センター」からもらったことがわかりました。

「相談支援専門員」からもらった方が今回の結果では見られませんでした。このことは、青葉会の利用者は既にサポートファイルを所持している、または青葉会の通所事業所より最初に差し

上げていることを示しています。青葉会以外の事業所を利用している方の普及率を上げていくことが、今後の柏市のサポートファイルの普及に繋がると考えています。



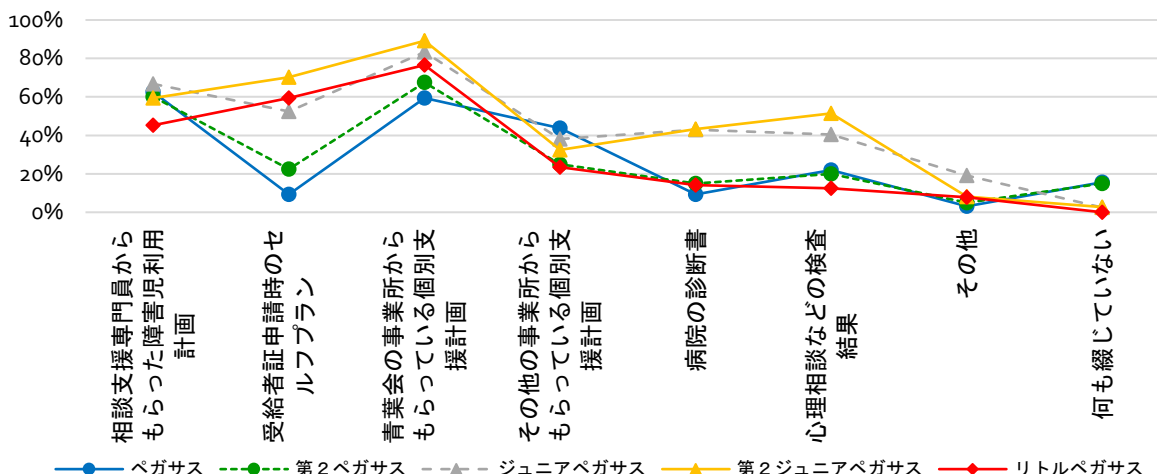
(3) サポートファイルに綴じているもの

いずれの事業所も、最も多くサポートファイルに綴じているものは「青葉会の通所事業所から半期ごとにもらう個別支援計画」でした。しかし、「個別支援計画をサポートファイルに綴じていたただこう」と始めたサポートファイルであっても、「個別支援計画をサポートファイルに綴られている」方は全員ではなく、多い順番に第2ジュニアペガサス89%、ジュニアペガサス83% (昨年84%)、リトルペガサス77% (昨年71%)、第2ペガサス68% (昨年58%)、ペガサス59% (昨年54%)となり、いずれの事業所も「個別支援計画が綴られていない」方が少なからずいらっしゃるようになりました。1年前の昨年度の結果と比較して有意な差は見られず、サポートファイル利用の取組みは進んでいません。

また、相談支援専門員が作成する「障害児支援利用計画」や「セルフプラン」を綴られている方も限られていることもわかりました。

「何も綴じていない」と回答された方は昨年度より減りましたが、まだ一定数いらっしゃることから、事業所の取組みや説明をより丁寧にしていく必要があると考えられます。

青葉会の児童事業所をご利用の全てのご家族の皆様にとって、有益なサポートファイルの利用が行えるよう、今後ともご案内をさせていただきます。



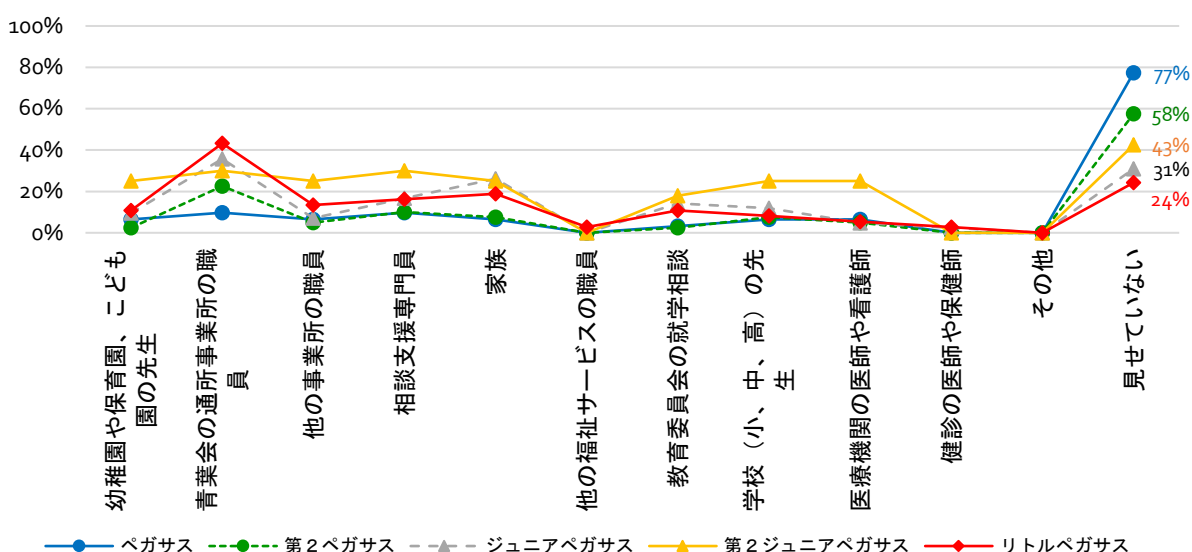
(4) サポートファイルを見せた人

ここでは「サポートファイルを見せているかどうか」について質問をしました。なお、「サポートファイルは見せていないが、個別支援計画だと見せています」という方もいらっしゃるため、個別支援計画をお見せした方たちの割合は、下図のデータに上積みする必要があります。

青葉会では、サポートファイルを面談時に持参していただき、その都度内容を確認することで取り組んできているものの、リトルペガサスであっても「青葉会の通所事業所の職員」に見せていると回答された方は、今年は43%であり昨年の60%より大きく後退してしまいました。その他の事業所にあつては、昨年と比べて増えたものの、その割合はまだまだ低位にあります。

「ご家族」や、「園の先生」、「学校の先生」に見せた方は少なく、「見せていない」と回答した方にいたっては、多い順番にペガサス77%、第2ペガサス58%、第2ジュニアペガサス43%、ジュニアペガサス31%、リトルペガサス24%もいらっしゃるようになりました。

前述したとおり、個別面談やモニタリング、保護者会などの機会を利用して、サポートファイルの取り組みを職員、ご家族ともに強く意識し、より有効的にサポートファイルが活用出来るよう、引き続き取り組みを進めていきます。

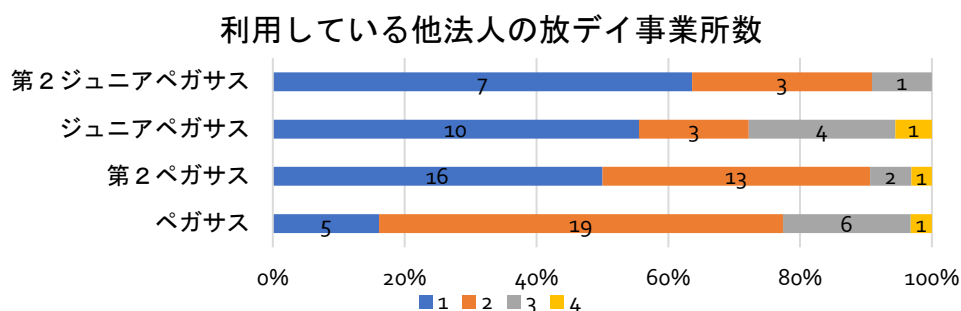
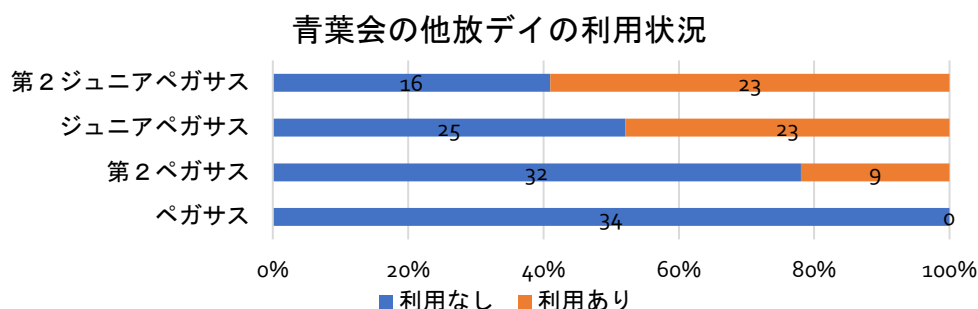


4. 青葉会の事業所以外の活動

(1) 利用されている事業所以外の他の活動

第2ジュニアペガサスが新たに開設されたことで、今年度は「青葉会内の放課後等デイサービス」を併用する方が増えました。

一方、ペガサスでは、今回の調査の回答では「青葉会内の放課後等デイサービス」を併用する方はいなく、他に放課後等デイサービスを利用されるときは「他の法人の事業所」を利用されていることがわかりました。



リトルペガサスでは、「利用していない」方が最も多く54%、「他の児童発達支援」を利用されていらっしゃる方は13%、「習い事」19%でした。

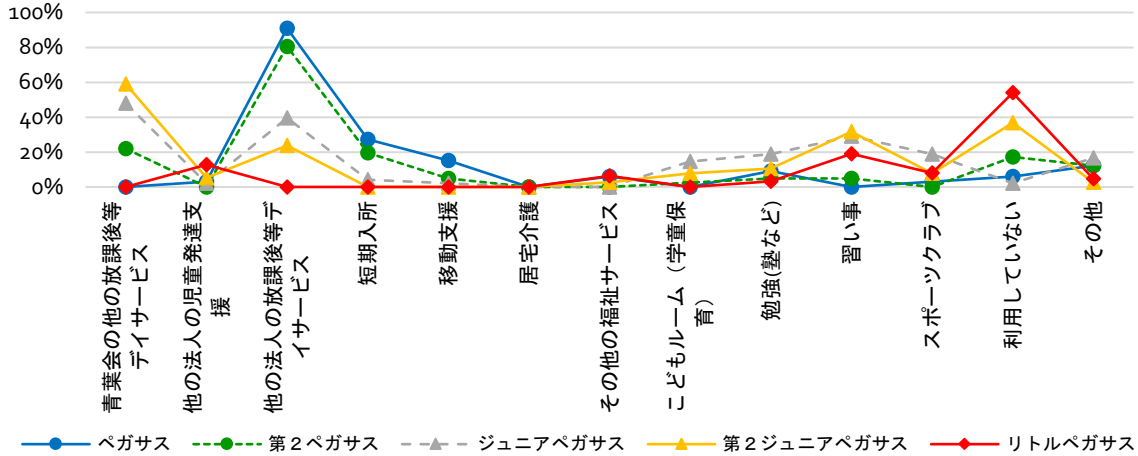
ジュニアペガサスでは、「青葉会の他の放デイ」48%、「他法人の放デイ」40%、「習い事」29%、「スポーツクラブ」19%、「勉強（塾など）」19%、「こどもルーム」15%併用しており、「他の利用なし」の方は2%しかいませんでした。

第2ジュニアペガサスでは、「青葉会の他の放デイ」59%、「他法人の放デイ」24%、「習い事」32%併用しており、一年生の利用者が多いこともあり「他の利用なし」の方は37%と多くいらっしゃいました。

ペガサスでは、「他法人の放デイ」91%、「短期入所」27%、「移動支援」15%と福祉サービスの利用者が一定数いらっしゃいました。「他の利用なし」は少なく6%でした。

第2ペガサスでは、「青葉会の他の放デイ」22%、「他法人の放デイ」80%、「短期入所」20%と福祉サービスの利用者が一定数いらっしゃいました。「他の利用なし」は17%でした。

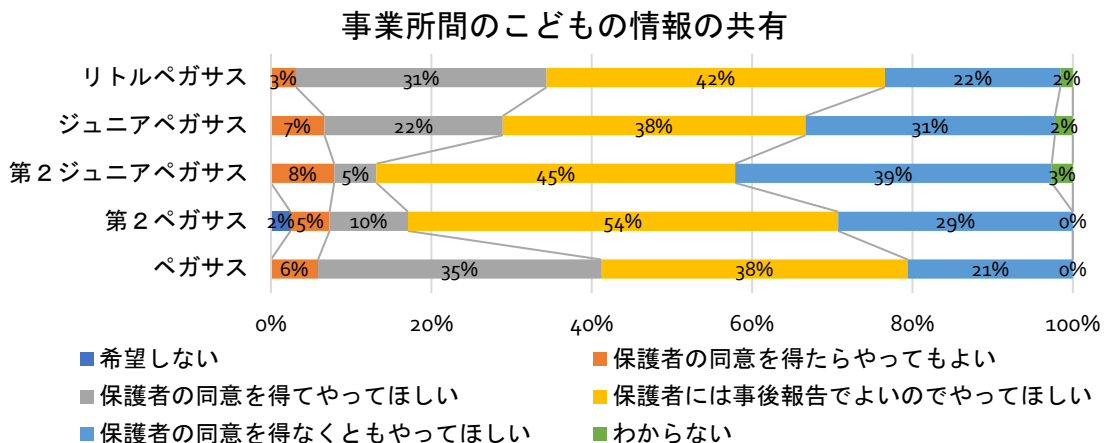
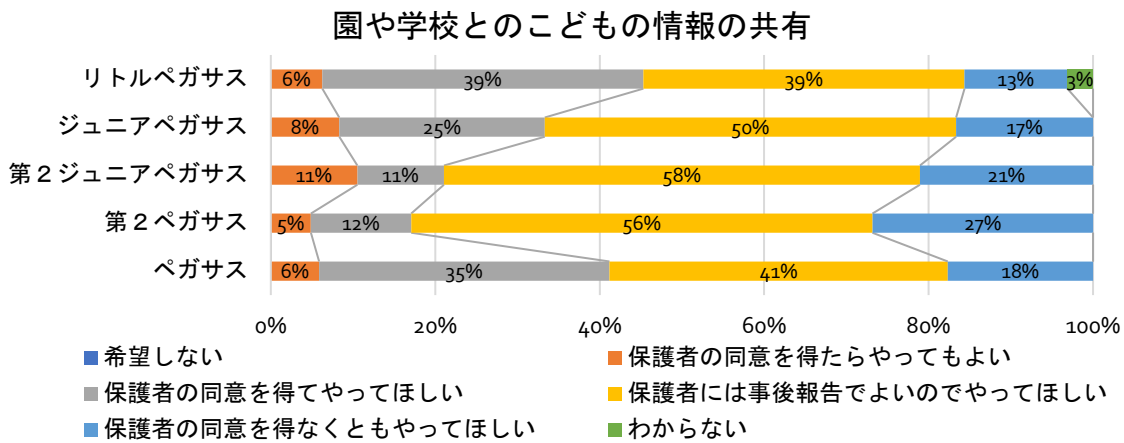
放課後等デイサービス事業所の「短期入所」の利用は、夏休みのお泊り体験の利用がほとんどと思われます。多くの方の福祉サービスの利用は「放課後等デイサービス」や「児童発達支援」であって、それ以外の福祉サービスを利用されている方は限られていることがわかりました。



(2) こどもの情報共有

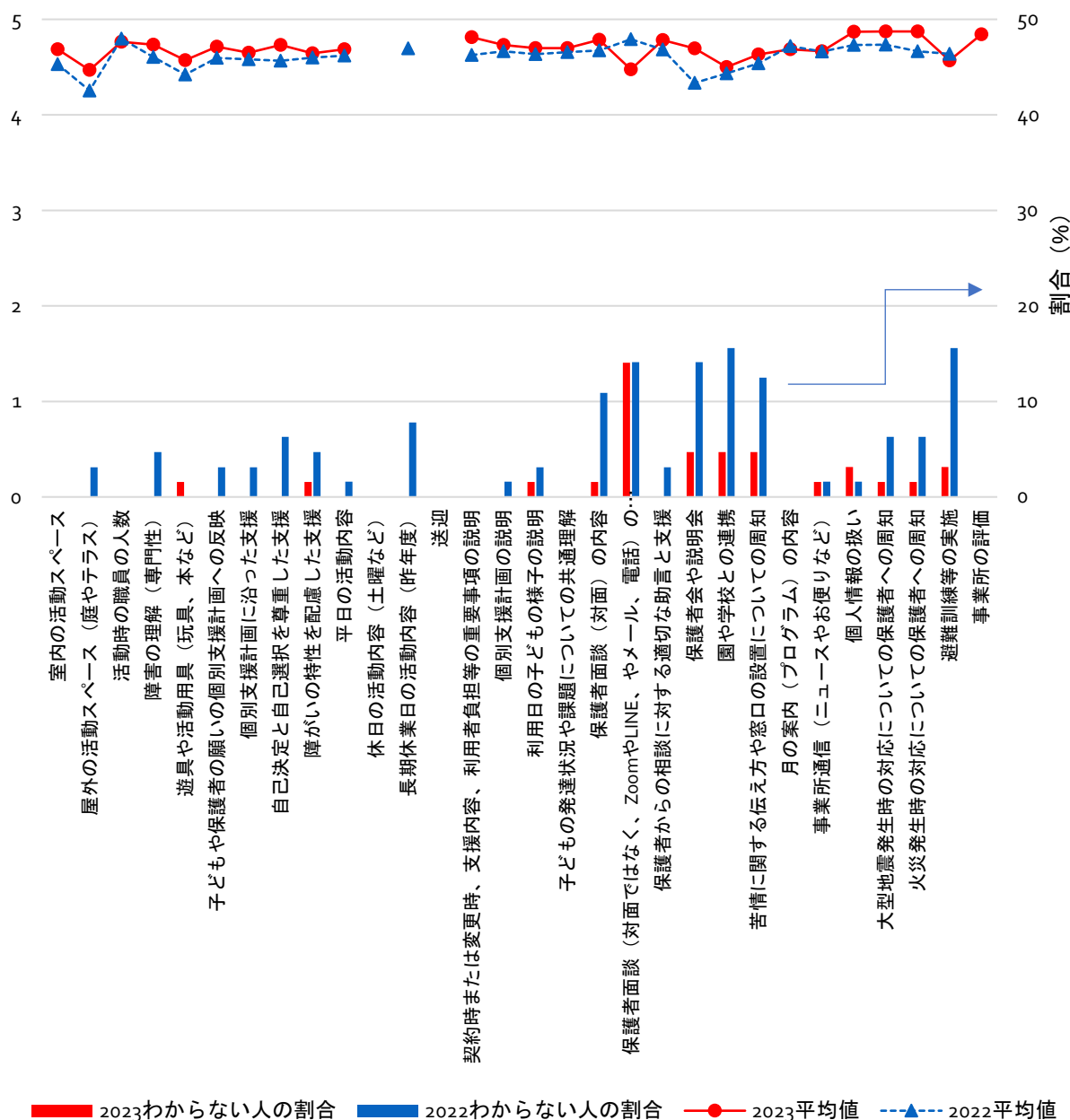
「園や学校とのこどもの情報共有」、「事業所間でのこどもの情報の共有」のいずれも「希望しない」とする回答はほぼなく、ご家族は関係機関との有効な情報共有を望まれていることが知られました。

事業所によって保護者との同意の方法についての意見は異なりましたが、いただいたご意見を参考にさせていただき、一人ひとりの利用者の支援のため、ご家族にご説明をしながら丁寧に関係機関と連携していきます。



5. リトルペガサス

I 今年度の活動



日頃からリトルペガサスの活動にご理解とご協力ありがとうございます。

また、お忙しい中、今年度もアンケート調査にご協力いただきありがとうございます。お配りしたアンケート調査にたくさんのご意見と回答をいただく事が出来ました。昨年度の結果に比べて「わからない」と回答された方がいない項目や「わからない」の回答が減った項目が増えています。日々の活動でご家族の方とのやり取りを通してご説明させていただいた結果が示された一つの成果と感じています。

まずは、「(項目の意味が) わからない」と回答された方の多かった項目と、昨年度の結果と比べて「(項目の意味が) わからない」と回答された方が減った項目を中心にコメントさせていただきます。

(1) 保護者面談(対面ではなく、Zoom や LINE、メール、電話)の内容

昨年度までは、新型コロナウイルス感染症のまん延防止措置として面談を控える期間が続き、思うように面談の機会を持ってないでございました。広めの部屋で換気を徹底しての面談から再開しながら、Zoom を用いての面談にも取り組んでいます。一方で、母子育成保育教室に通っている方は、常日頃、対面でお話しさせていただいていることもあり、対面以外での面談のご案内をする機会があまりなかったように思います。まん延防止措置が緩和された以降も、様々な形での面談に取り組んでいく予定です。面談の機会が持てる事や面談方法を保護者の方々にもっと知っていただけるよう、ご案内の仕方を工夫していきます。

(2) 保護者会や説明会

昨年度については、母子育成保育教室(こしあん・つぶあん・みたらし・よもぎ)は6月~7月に保護者会を開催させていただきました。また、母子分離育成保育教室(ずんだ組)に関してはZoom を利用したリモート保護者会を開催させていただきました。

今年度は、5月にまん延防止措置が緩和されたことを踏まえ、6月に対面にて保護者会と勉強会を開催させていただきました。母子育成保育教室(はむさんど・つなさんど・ちーずさんど・じゃむさんど・かつさんど)。母子分離育成保育教室(ふる一つさんど)ともに、すべてのクラスで開催ができたことが、「わからない」と回答された方が減った要因になっていると感じています。また、母子分離育成保育教室(ふる一つさんど)に関しては、Zoom も併用して開催したことで、より多くの方にご参加いただけたと感じています。今後も、多くの方に参加していただけるよう、柔軟に開催をしてみたいです。

(3) 園(や学校)との連携

昨年度までは、新型コロナウイルス感染症のまん延防止措置の影響で、保育所等訪問支援に伺いたくても中々叶わないことが多くありました。令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」になり、今年度は実際にお伺いしてサービスの提供をさせていただける機会が増えています。また、集団生活がコロナ禍以前に戻りつつあることや、運動会などの園・学校行事が再開されていることもあり、保育所等訪問支援のご希望が昨年度に比べて増加の傾向にあります。そのような背景から、「わからない」と回答された方が減っていると考えています。一方で、今年度は4月に入室されたお子さんも多く、アンケートにご回答いただくまでの間に、園や学校との連携をまだ行えていなかったケースも多かったと思います。

今後は、ご希望に沿って保育所等訪問が実施できるように園や学校との連携を図り、また、実際に取り組む以前でも、どのような取り組みがされているのか周知できるよう工夫していきます。

(4) 避難訓練等の実施

年2回、青葉会全体で行う避難訓練と各事業所で行う避難訓練があります。今年度1回目の避難訓練につきまして各クラスでは5月と7月に行っています。法人全体の避難訓練は9月に実施させていただきました。らくらく連絡網への返信等、ご協力ありがとうございました。また、母子育成保育教室・母子分離育成保育教室ともに、クラスに合わせて防災頭巾を被ってみる、部屋の中心に集ってみる等の避難訓練を実施しています。母子分離育成保育教室(ふる一つさんど)に関しては、日々の連絡帳や“すなっぷだより”等を通して子ども達の参加の様子をお知らせしています。

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で避難訓練も中々思うように実施できませんでした。今年度は実際に参加いただけたことが「わからない」の回答の減少に繋がっていると考えています。また、大型地震発生時の対応については、入室時の面談時に詳しくご説明をする機会を持っています。今年度は6月に開催した保護者会にて、皆さんと再度の確認をさせていただきました。今後も定期的な避難訓練の実施や自然災害等の非常時の対応の確認をしてまいります。

II 子育てで困っていることなど

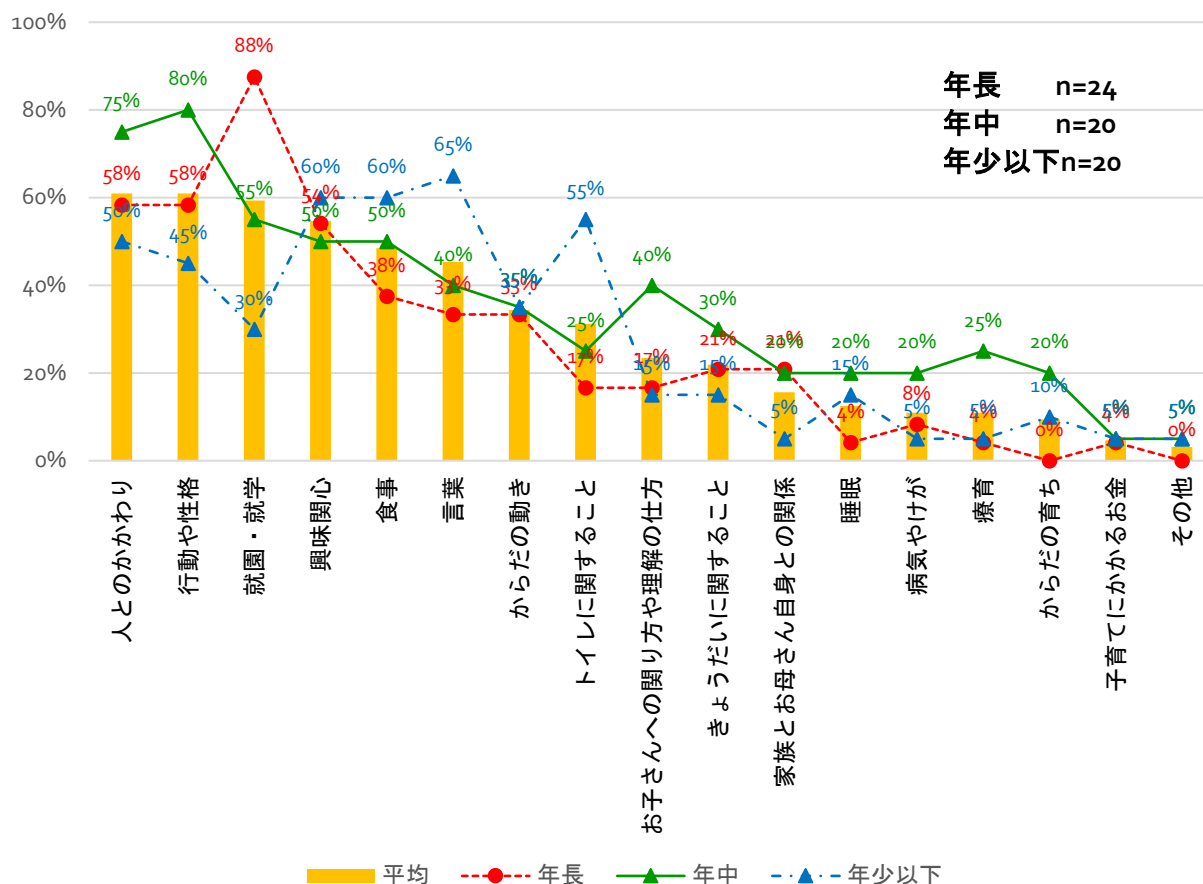
1. 子育てで困っていること

「今、子育てで困っていること」について、例を列記し、選択を尋ねたところ、選択された割合が高い順番に、年長の方では「就園・就学に関すること」(87.5%)、「人とのかかわりに関すること」(58.3%)、「行動や性格に関すること」(58.3%)、「興味関心に関すること」(54.2%)、「食事に関すること」(37.5%)、「からだの動きに関すること」(33.3%)、「言葉に関すること」(33.3%)でした。

年中の方では、「行動や性格に関すること」(80.0%)、「人とのかかわりに関すること」(75.0%)、「就園・就学に関すること」(55.0%)、「食事に関すること」(50.0%)、「興味関心に関すること」(50.0%)、「言葉に関すること」(40.0%)、「お子さんへのかかわり方や、理解の仕方に関すること」(40.0%)でした。

年少以下の方では、「言葉に関すること」(65.0%)、「興味関心に関すること」(60.0%)、「食事に関すること」(60.0%)、「トイレに関すること」(55.0%)、「人とのかかわりに関すること」(50.0%)、「行動や性格に関すること」(45.0%)でした。

ご家族にとっての困り感の大きさは、お子さんの障がい特性からくる課題に対する意識の高さともとらえさせていただいています。加えて、お母さんたちの課題に対する取組への関心の高さでもあると考えています。お子さんやご家庭の環境によって困り感の内容や質は異なります。私たちも、お母さんと一緒に、一人ひとりの育ちに丁寧に関わらせていただきます。



2. お子さんについての悩みや困っていることを相談したきっかけ

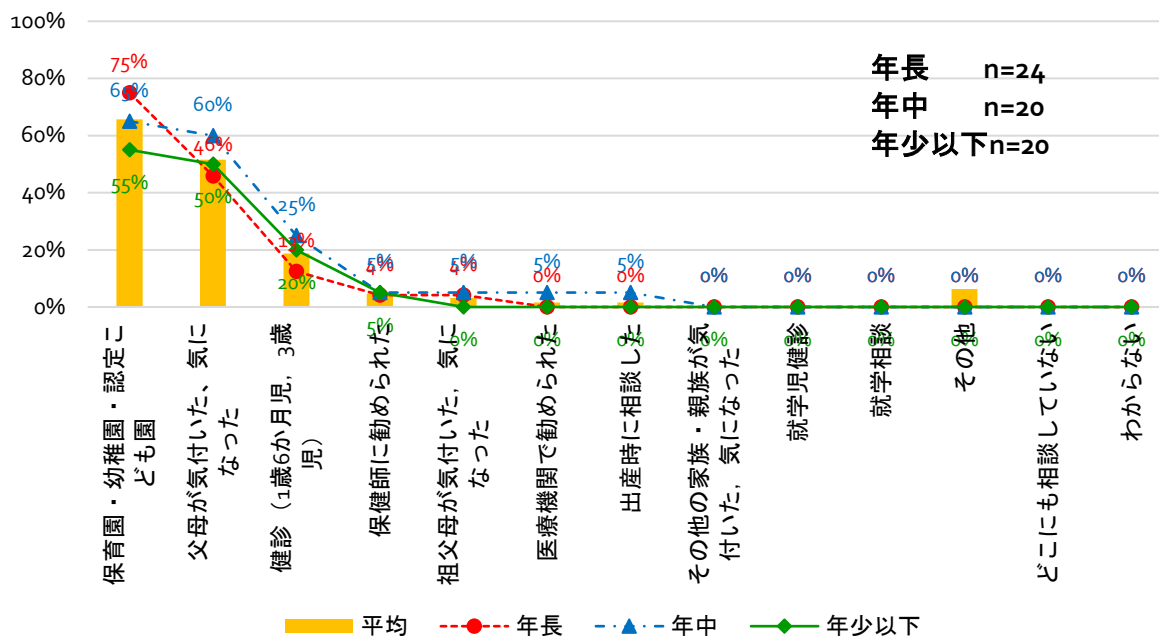
「お子さんについての悩みや困っていることを相談したきっかけ」について、例を列記し、選択を尋ねたところ、子どもの年齢に関わらず共通して、選択された割合が高い順番に、「保育園・幼稚園・認定こども園」(75%)、「父母が気付いた、気になった」(46%)、「健診」(13%)でした。

昨年度は、加えて「お子さんについての悩みや困っていることの相談先」について質問をしました。その結果、選択された割合が高い順番に、年長の方では「リトルペガサス」(88.6%)、「家族・親族」(82.9%)、「保育園・幼稚園・認定こども園」(51.5%)、「友人・知人」(45.7%)、「市のこども発達センター・児童発達支援センター」(34.3%)、「就学相談の窓口」(33.3%)でした。

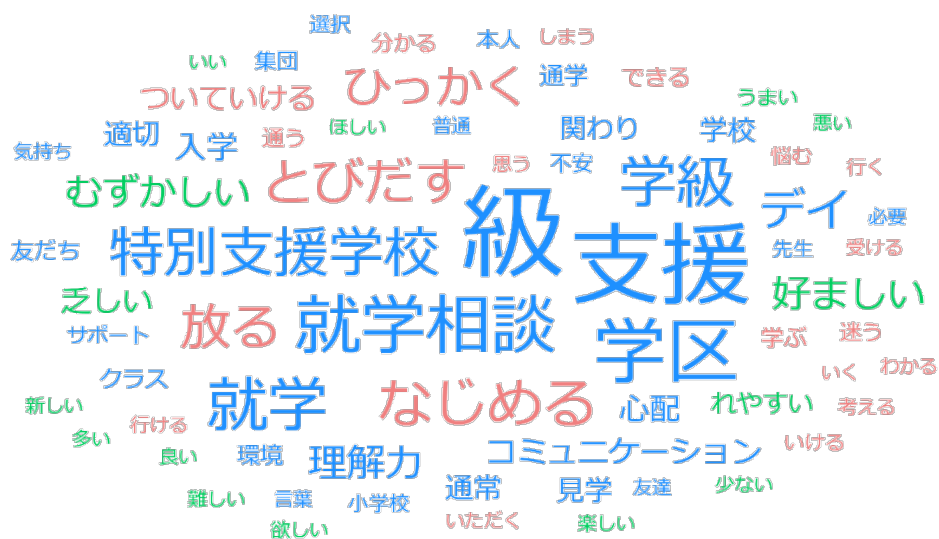
また、年中以下の方では、「リトルペガサス」(96.6%)、「家族・親族」(62.1%)、「市のこども発達センター・児童発達支援センター」(62.1%)、「保育園・幼稚園・認定こども園」(53.8%)、「友人・知人」(34.5%)、「他の民間の児童発達支援事業所」(27.6%)、「保健所・保健センター」(24.1%)、「児童センター・地域子育て支援センター」(17.2%)、「市役所（保健所を除く窓口）」(10.3%)でした。

その結果、お子さんの年齢に関わらず、ほとんどの方が「リトルペガサス」と「ご家族・ご親族」に相談されていることがわかりました。また、相談先として「保育園、幼稚園、こども園」や「公設の児童発達支援センター」などもたくさんの方が支持されていることも知りました。

昨年度の結果も踏まえ、ご家族とご相談しながら保育園・幼稚園・認定こども園と緊密に情報交換に努めるなど連携してまいります。



活動での様子を面談等を通してお伝えしながら、ご要望がありましたら、お子さん一人ひとりに合った就学先と一緒に検討してまいります。就学についての先輩お母さんの体験談を聞く勉強会も開催しています。いつでもご相談ください。

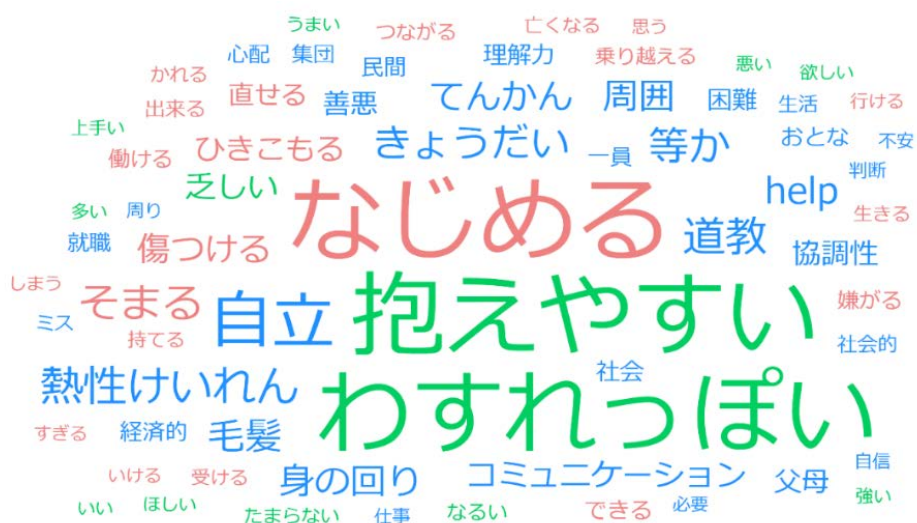


5. 大人になったときに心配なこと

「大人になったときに心配なこと」を記述形式で尋ねたところ、37名の方から回答をいただきました（回答率58%）。

「大人になったときに心配なこと」として、「なじめるかどうか」「抱えやすいこと」「忘れっぽいこと」のスコアが大変高く評価されるとともに、「自立」、「きょうだい」、「身の回り」、「熱性けいれん」、「てんかん」、「周囲」、「傷つける」、「そまる」、「help」、「ひきこもる」、「善悪」、「協調性」、「コミュニケーション」などの障がいによる心配事に関係していることがわかりました。

まずは、幼稚園や保育園、小学校といった社会へ羽ばたいていく時に、少しでも困り事が減っていくようサポートしていきます。また、大人になった時に必要な生きる力を養えるよう、一人ひとりの大切な幼児期に向き合ってまいります。



6. リトルペガサスに通室しようと決めたきっかけ

「リトルペガサスに通室しようと決めたきっかけ」について、例を列記し、選択を尋ねたところ、30%以上選択された回答で割合が高い順番に、年長の方では「職員の雰囲気」(65.0%)、「幼稚園、保育園、こども園の先生から紹介」(57.0%)、「人と関わる経験が積める」(48.0%)、「子どもの特性の理解、関わり方を学べる」(43.0%)、「安心して通えそう」(43.0%)、「母子同室での育成保育」(39.0%)、「今、やらなければならないと感じたから」(39.0%)、「見学」(39.0%)、「気兼ねなく相談できる雰囲気」(35.0%)でした。

年中の方では、「職員の雰囲気」(65.0%)、「幼稚園、保育園、こども園の先生から紹介」(60.0%)、「今、やらなければならないと感じたから」(55.0%)、「人と関わる経験が積める」(50.0%)、「子どもの特性の理解、関わり方を学べる」(50.0%)、「見学」(45.0%)、「気兼ねなく相談できる雰囲気」(45.0%)、「安心して通えそう」(35.0%)、「電話対応」(35.0%)、「母子同室での育成保育」(35.0%)、「リトルサロンの初回相談」(35.0%)、「専門職がいる」(30.0%)、「体験」(30.0%)でした。

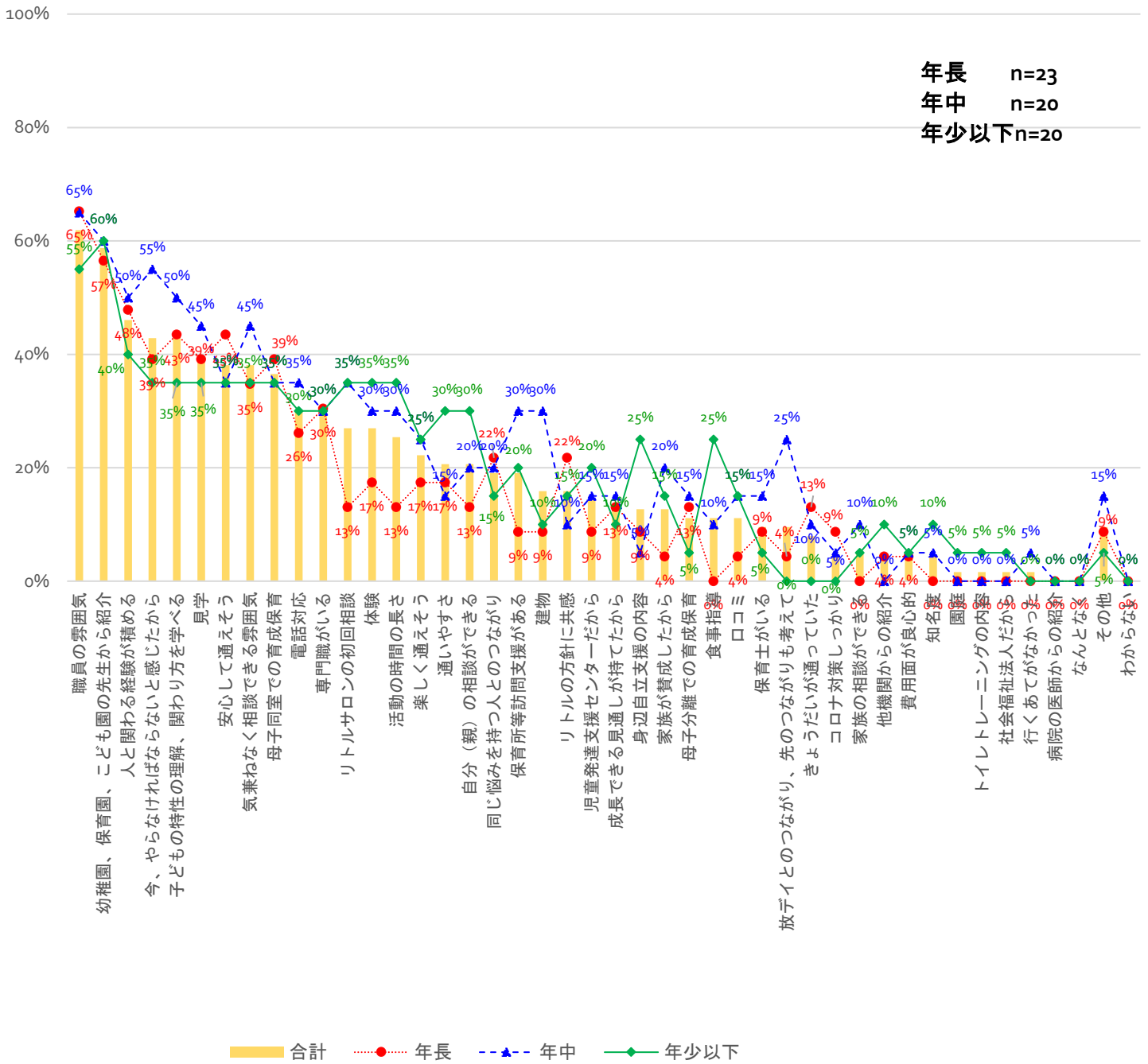
年少以下の方では、「幼稚園、保育園、こども園の先生から紹介」(60.0%)、「職員の雰囲気」(55.0%)、「人と関わる経験が積める」(40.0%)、「今、やらなければならないと感じたから」(35.0%)、「子どもの特性の理解、関わり方を学べる」(35.0%)、「見学」(35.0%)、「気兼ねなく相談できる雰囲気」(35.0%)、「安心して通えそう」(35.0%)、「母子同室での育成保育」(35.0%)、「体験」(35.0%)、「リトルサロンの初回相談」(35%)、「活動時間の長さ」(35%)でした。

昨年度は、加えて「リトルペガサスを主に知ったところ」について、質問をしました。その結果、選択された割合が高い順番に、年長の方では、「幼稚園、保育園、こども園」(60.0%)、「こども発達センター（ウェルネス柏）」(29.6%)、「インターネットのサイト」(11.4%)、「友人等からの紹介」(8.6%)、「相談支援専門員」(8.6%)、「保健所・保健センター」(5.7%)でした。

また、年中以下の方では、「幼稚園、保育園、こども園」(55.2%)、「こども発達センター（ウェルネス柏）」(27.3%)、「友人等からの紹介」(17.2%)、「法人のホームページ」(6.9%)、「きょうだい、親戚が通っていた」(6.9%)でした。

その結果、リトルペガサスを利用されているお子さんの多くが、お子さんの年齢に関わらず「保育園、幼稚園、こども園」、「柏市こども発達センター」から紹介されて入室されたことが示されました。これらの機関が、現在リトルペガサスにつながる大きなパイプとなっていることを知りました。

昨年度の結果も踏まえると、保育園や幼稚園、こども園の先生方の紹介があって、見学や体験をしたり、リトルサロンに通うことで、職員の雰囲気に安心し、今、やらなければならないと感じて、リトルペガサスの通室を決められている方が多いように推察しました。案内チラシをお配りするなど、丁寧に保育園や幼稚園、こども園の先生方にリトルペガサスの取組みをご紹介していくとともに、引き続き、リトルペガサスを訪ねて来られるお母さんたちに寄り添って、丁寧に対応していきます。



7. リトルペガサスでさらに充実してほしい支援や、新たに実施してほしい支援

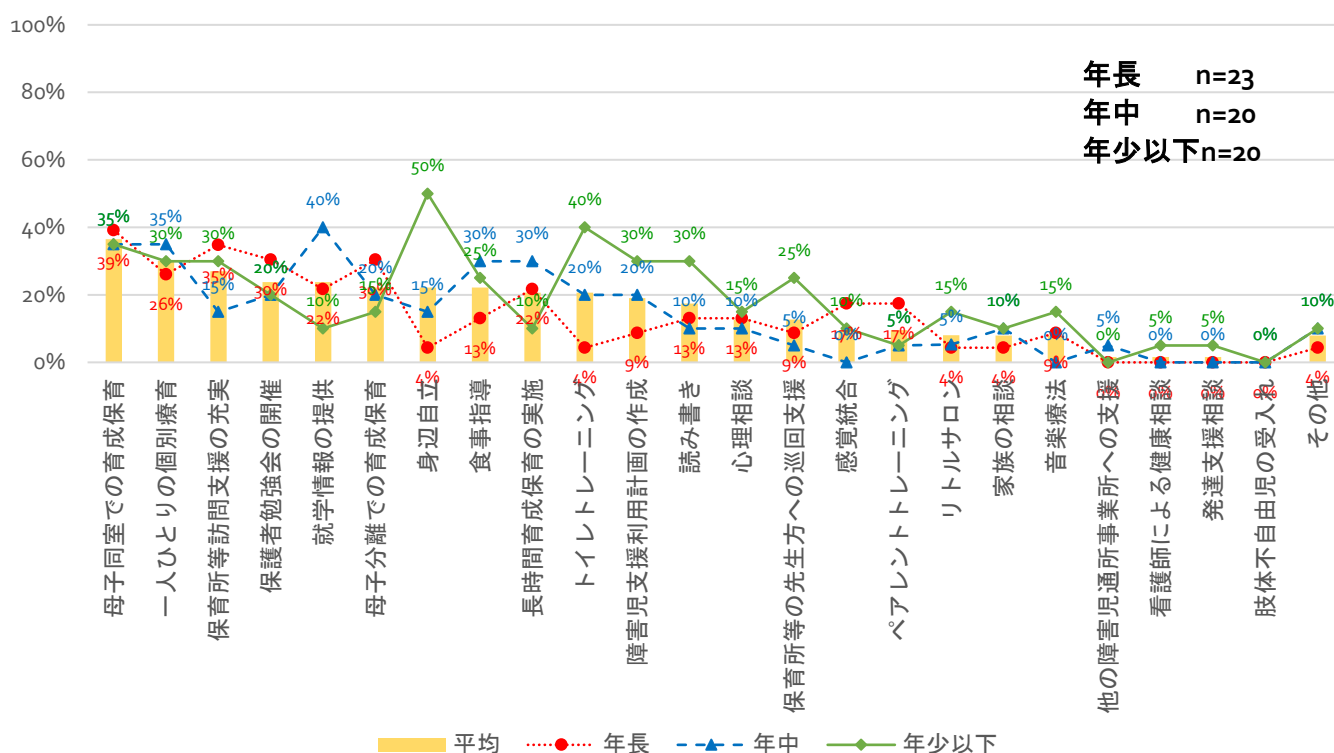
「リトルペガサスで充実してほしい支援や、新たに実施してほしい支援」について、支援を列記し、選択を尋ねたところ、お子さんの年齢に関わらず「母子同室での育成保育」、「一人ひとりの個別療育」、「保育所等訪問支援の充実」、「ご家族勉強会の開催」は共通してたくさんの方が選択されている一方で、年齢別にご希望が大きく異なることがわかりました。この項目の回答は、前述した「子育てで困っていること」の選択とも連動する個別性の高い選択が示されているものと理解しています。今後のリトルペガサスの運営において、参考にさせていただきます。

15%以上選択された回答で割合が高い順番に、年長の方では、「母子同室での育成保育」(39.1%)、「保育所等訪問支援の充実」(34.8%)、「母子分離での育成保育」(30.4%)、「保護者勉強会の開催」(30.4%)、「一人ひとりの個別療育」(26.1%)、「長時間育成保育の実施」(21.7%)、「就学情報の提供」(21.7%)、「感覚統合」(17.4%)、「ペアレントトレーニング」(17.4%)でした。

年中の方では、「就学情報の提供」(40.0%)、「母子同室での育成保育」(35.0%)、「一人ひとりの個別療育」(35.0%)、「長時間育成保育の実施」(30.0%)、「食事指導」(30.0%)、「母子分離での育成保育」(20.0%)、「保護者勉強会の開催」(20.0%)、「障害児支援利用計画の作成」(20.0%)、「トイレトレーニング」(20.0%)でした。

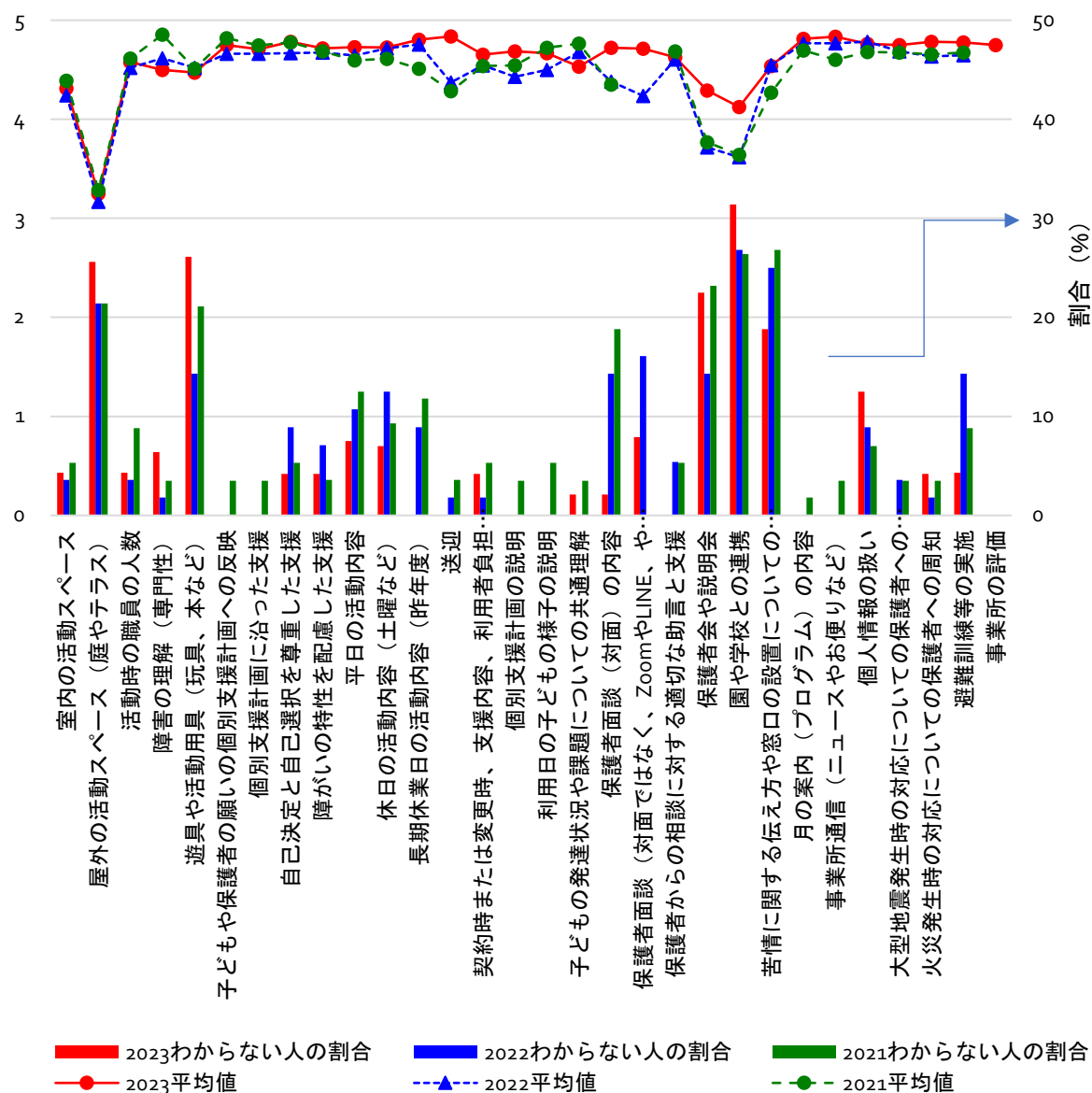
年少以下の方では、「身辺自立」(50.0%)、「トイレトレーニング」(40.0%)、「母子同室での育成保育」(35.0%)、「一人ひとりの個別療育」(30.0%)、「障害児支援利用計画の作成」(30.0%)、「保育所等訪問支援の充実」(30.0%)、「読み書き」(30.0%)、「食事指導」(25.0%)、「保育所等の先生方への巡回支援」(25.0%)、「保護者勉強会の開催」(20.0%)でした。

一方で、児童発達支援センターに対して国から充実が求められている「看護師による健康相談」、「家族の相談」、「他の障害児通所事業所への支援」、「発達支援相談」、「肢体不自由児の受入れ」については、直接、個人の療育と関係しないからか、ご家族の関心は極めて低位でした。



6. ジュニアペガサス

I 今年度の活動



ジュニアペガサス、及び今年度からスタートしました姉妹事業所の第2ジュニアペガサスの活動にご理解・ご協力をいただき本当にありがとうございます。

保護者の皆様にはお忙しい中、今年度もたくさんの設問があるアンケートにご回答いただき感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

昨年度から「わからない」の回答が多かった項目については、今年度も変わらず「わからない」という回答を多くいただきてしまいました。ここでは、「わからない」と答えた方が多い項目について改めてコメントさせていただきます。

(1) 屋外の活動スペース

事業所には屋外の活動スペースがないため「わからない」と答えられた方が多かったと思われ

ます。それを補うため屋外活動を多く取り入れています。今年度も土曜日や長期休みの1日活動では「虫取りに行こう」、「公園に行こう」、「買い物に行こう」など外での活動機会を多く取り入れました。また恒例となった地域生活支援拠点あおぼの体育館や広場をお借りしての運動遊びは大人気の活動です。体育館にある大きなトランポリンをビュンビュン飛んだり、外の広場で鬼ごっこやサッカーなど友達と思いきり体を動かし楽しんで遊ぶ姿が見られます。また、今年度はWITHUSの体育館や敷地をお借りしてのプチタ涼み会や、姉妹事業所の第2ジュニアペガサスでのプール活動、生活工房こだまの畑にある竹藪に遊びに行ったりと青葉会全体の施設を使用する中で、ジュニアペガサスの職員とは違ういろいろな大人との出会いや関わりの体験をしています。

(2) 遊具や活動用具

「今日は何して遊ぼうか!」「UNO やろう!」「鬼ごっこがいいよ!」「プラレールをなが〜く繋げて電車を走らせようよ!」「段ボールを使って工作もいいね!」

毎日にぎやかな活動の内容の一端は毎月送らせていただいているジュニアペガサスニュースなどで紹介させていただいています。お子さんと一緒にご覧いただきながらどんなおもちゃでどんな風に友だちと遊んでいるのか是非聞いてみてくださいね。

また、保護者の皆様からご寄付していただいたおもちゃはありがたく使用させていただいています。いつも本当にありがとうございます。引き続きお家でもう使っていないんだ…。処分しようと思っているけど…等のおもちゃや本がありましたらお声かけいただけたら嬉しいです。

今年度から1階活動室・調理室を開放しています。

1日活動時はひとときDVDを見て過ごす、調理活動時、まだまだコロナ渦という事もあり分散活動時等に1階活動室を使用しています。また、2階は部屋数が限られてしまっている為、少しだけ静かな空間で1人の時間を過ごしたいんだ…という高学年のお兄さん・お姉さんが1階活動室でひとときのんびり…落ち着いた時間を過ごす場所にもなっています。

2階活動室の奥にあるジュニアペガサスオリジナルの滑り台は、松葉町に児童デイサービスが開設された2006年に、岡山で作業療法士の若松かやのさんたちのグループが使われていた感覚統合運動用の滑り台をそのまま同じく実現されたものです。世界で岡山とジュニアペガサスにしかありません。

また、松葉町の事業所は、今は亡き漫画家の戸部けいこさんが何度も訪ねられて「光とともに…」の光君が通うおひさまハウスの活動場面としてスケッチされたところです。ジュニアペガサスの自慢ポイントの1つです!



ジュニアペガサスにお立ち寄りいただいた時には少し離れたところから耳を澄ましてみてください。子ども達の楽しそうな笑い声が聞こえ、つられて笑顔になってしまいます♪

2階の小窓から子ども達の様子をこ〜っそりと覗いてみると〜…。滑り台に鬼ごっこ、ドッチボールにレゴ…。笑顔あり、涙あり!にぎやかな様子が見られます!

(3) ご家族面談や保護者会

ジュニアペガサスでは子どもたちが楽しく過ごせる様、前期・後期と年2回個別支援計画を作成しております。お子様の「やった!」「できた!」から「もっとやってみたい!!」の嬉しい、自信に満ち溢れたシーンや、ほっこり優しい気持ちになるようなエピソード等をスタッフ皆で話

し合いお一人お一人丁寧に作成させていただいています。また、サポート加算面談等、お子様についてじっくりとお話させていただく大切な時間を設けています。送迎時等ではせわしなくてなかなかお話しできない事も是非この機会にゆっくりお話しさせていただけたらと考えております。その際、大変かとは思いますが是非サポートファイルをお持ちください。大切なお子様の成長の記録を拝見させていただきます。また、成長の記録や学校の書類とともにジュニアペガサスの個別支援計画を綴ってくださると幸いです。

10月に地域生活支援拠点あおばにて、ジュニアペガサス・第2ジュニアペガサス合同の保護者会を開催いたします。その際、去年より「わからない」のポイントは下がりましたが、改めて避難訓練等の実施、震災発生時の対応について、説明させていただきます。その他に日々の活動の様子をスライドショーで紹介をさせていただきます。お子様のかわいい写真をたくさん用意して皆様のお越しを楽しみにお待ちしております♪

(4) 学校との連携

年度初めにご記入していただいた「子どもの目標」に加え、学校からの引継ぎで気にしてほしい事をご記入いただいております。「今日は学校でどんなことをしたの?」「トイレに行ったかな?」「給食はどれくらい食べたかな?」「忘れ物はないかな?」など、短い引継ぎの時間ではありますが、できる限り学校の先生を交えて確認・情報共有をしています。また、具体的に学校と共有してほしいことがあり連携を希望される場合は相談支援事業所、学校側、他事業所に相談させていただきます会議のセッティングするなど積極的に対応させていただきます。どうぞ遠慮なくお話しください。

(5) 苦情に関する伝え方や窓口の設置についての周知

「苦情相談」について、新規の契約時や、年度初めの保護者会の中で重要事項説明書に沿ってお話しさせていただきます。事業所に、ご家族やお子さんからの相談、苦情等に対応する窓口を設置し、ご家族からご要望、苦情等があれば、ご家族、お子さんの立場に立って、誠実かつ迅速に対応し、改善に努めさせていただきます。

苦情担当窓口の担当職員を設けておりますが、担当職員でなくても他職員や管理者にいつでも何でもご相談ください。

(6) 個人情報の扱い

毎年重要事項説明書と共に「個人情報使用同意書」をご記入いただいております。使用する目的として①利用する社会福祉法人青葉会のすべての事業や、②担当者会議、③私が利用する他のサービス事業者等と情報の共有が必要な場合、④障害福祉サービスを受けるうえで必要と思われる医療機関・団体に使用する。さらに⑤災害などの避難支援実施ため、個人情報の事業所外持ち出し及び避難支援等関係者その他の者に対する情報共有を含めて使用させていただきます。

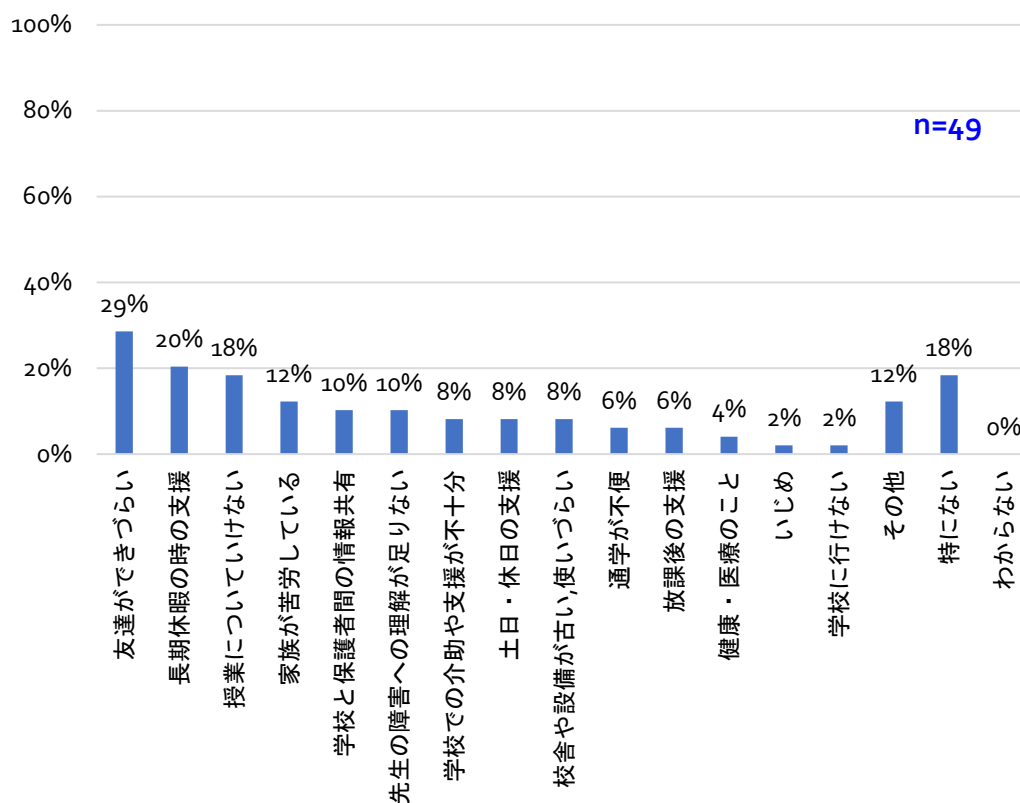
また、私達職員はサービス提供をする上で知り得た保護者、利用者及びその家族に関する秘密を正当な理由なく他の法人及び第三者に漏らす事はありません。それは契約が終了した際も同様です。

II 学校生活や将来

1. 学校生活で困った、困っていること

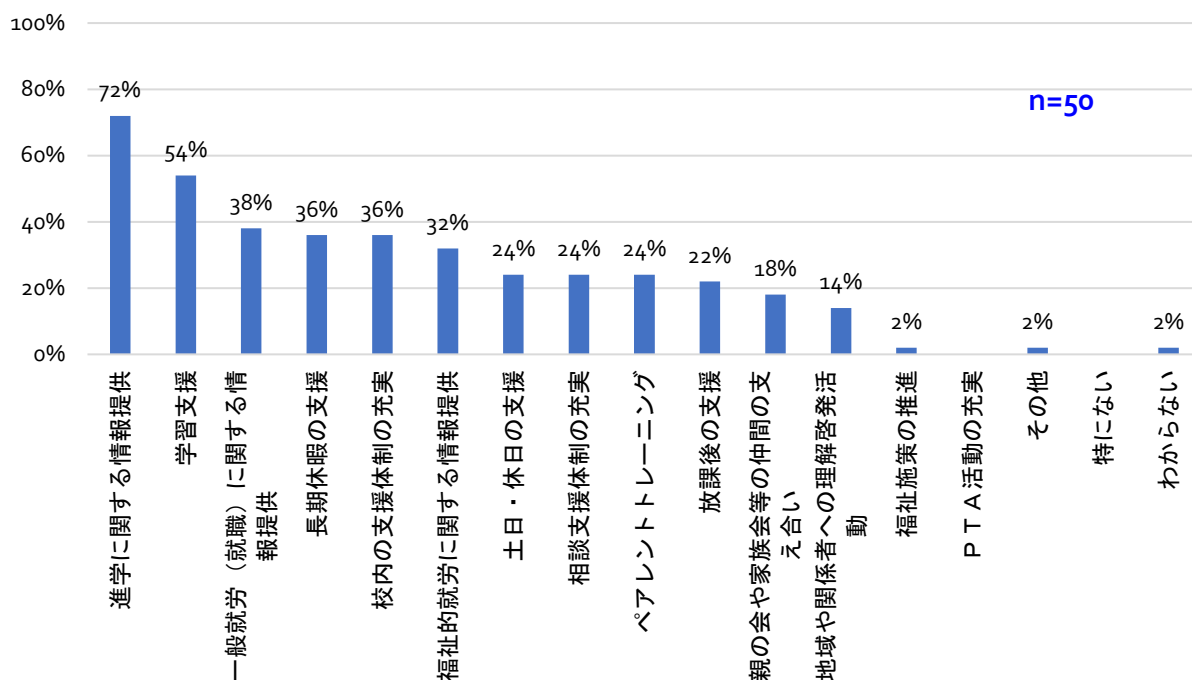
「学校で困った、困っていること」について、例を列記し、尋ねたところ、「特にない」方は18%しかいなく何らかの困り感をお持ちの方が8割近くいらっしゃることに、さらにその困り感がご家族によって異なっていることがわかりました。

選択された割合が高い順番に、「友だちができづらい」(29%)、「長期休暇の時の支援」(20%)、「授業についていけない」(18%)、「家族が苦勞している」(12%)、「学校と保護者間の情報共有」(10%)、「先生の障害への理解が足りない」(10%)、「学校での介助や支援が不十分」(8%)、「土日・休日の支援」(8%)、「校舎や設備が古い、使いづらい」(8%)、「通学が不便」(6%)、「放課後の支援」(6%)、「健康・医療のこと」(4%)、「いじめ」(2%)、「学校に行けない」(2%)、「その他」(12%)、「特にない」(18%)、「わからない」(0%)でした。



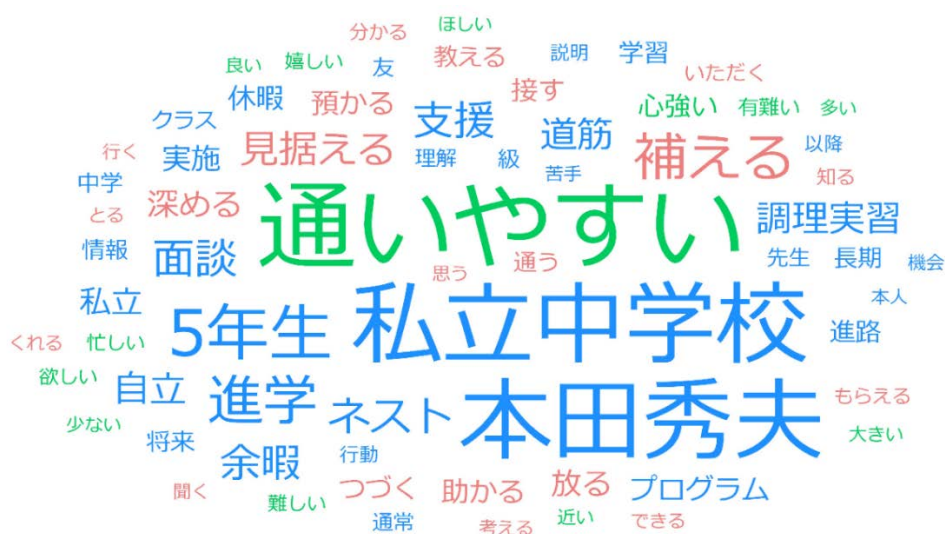
3. 学齢期に子育てをする上で希望する援助

「学齢期に子育てをするうえで希望する援助」について、例を列記し、選択を尋ねたところ、選択された割合が高い順番に、「進学に関する情報提供」(72%)、「学習支援」(54%)、「一般就労に関する情報提供」(38%)、「長期休暇の支援」(36%)、「校内の支援体制の充実」(36%)、「福祉的就労に関する情報提供」(32%)、「土日・休日の支援」(24%)、「相談支援体制の充実」(24%)、「ペアレントトレーニング」(24%)、「放課後の支援」(22%)、「親の会や家族会等の仲間との交流会い」(18%)、「地域や関係者への理解啓発活動」(14%)、「福祉施策の推進」(2%)、「PTA活動の充実」(2%)、「その他」(2%)、「特にない」(2%)、「わからない」(2%)でした。



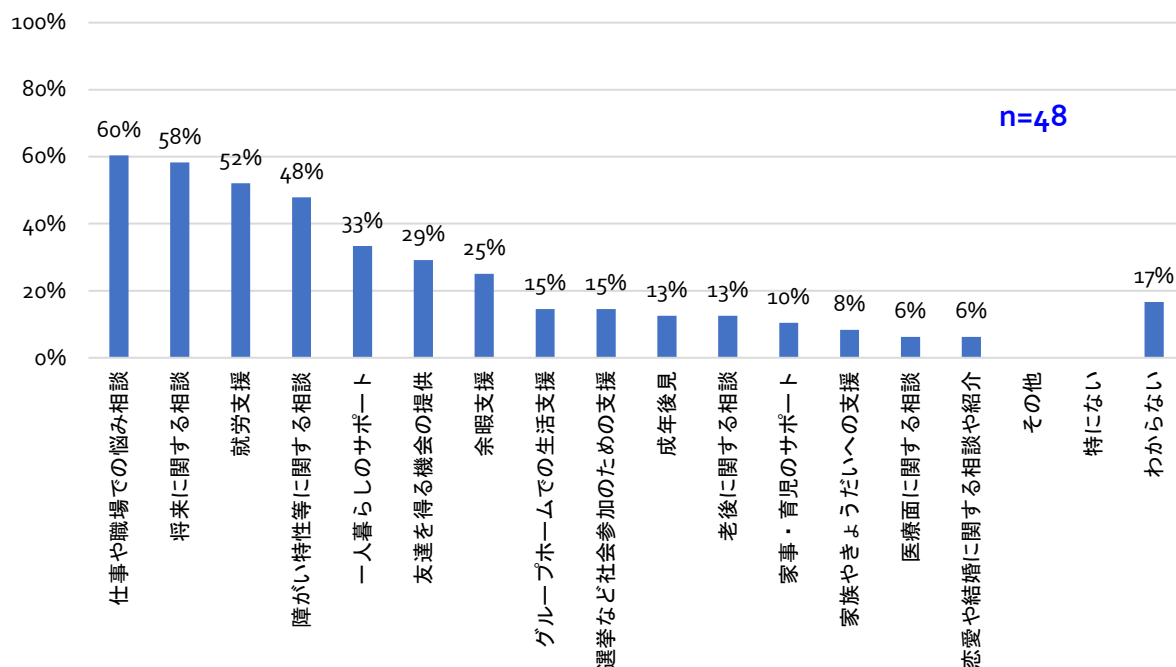
「学齢期に子育てをする上で希望する援助」を記述形式で尋ねたところ、25名の方から回答をいただきました(回答率50%)。

「学齢期に子育てをする上で希望する援助」として、「通いやすいこと」と「私立中学校」のスコアが大変高く評価され、次いで関連して「5年生」、「進学」、「本田秀夫先生のネストジャパンの取組み」、「調理実習」、「支援」、「道筋」、「捕える」、「見据える」、「面談」、「自立」、「余暇」などのスコアも高く評価されていることがわかりました。



4. 学校を卒業して社会に出た時に希望する支援

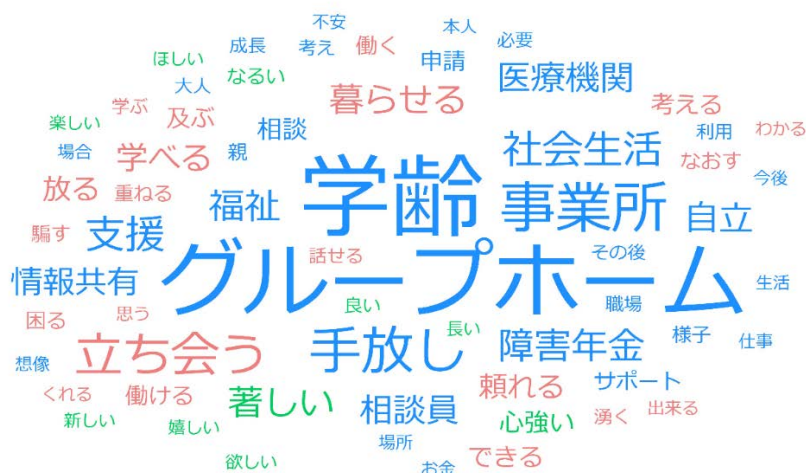
「学校を卒業して社会に出た時に希望する支援」について、例を列記し、選択を尋ねたところ、選択された割合が高い順番に、「仕事や職場での悩み相談」(60%)、「将来に関する相談」(58%)、「就労支援」(52%)、「障がい特性等に関する相談」(48%)、「一人暮らしのサポート」(33%)、「友達を得る機会の提供」(29%)、「余暇支援」(25%)、「グループホームでの生活支援」(15%)、「選挙など社会参加のための支援」(15%)、「成年後見」(13%)、「老後に関する相談」(13%)、「家事・育児のサポート」(10%)、「家族やきょうだいの支援」(8%)、「医療面に関する相談」(6%)、「恋愛や結婚に関する相談や紹介」(6%)、「その他」(6%)、「特にない」(6%)、「わからない」(17%)でした。



5. 大人になった時に希望する支援

「大人になった時に希望する支援」を記述形式で尋ねたところ、25名の方から回答をいただきました(回答率50%)。

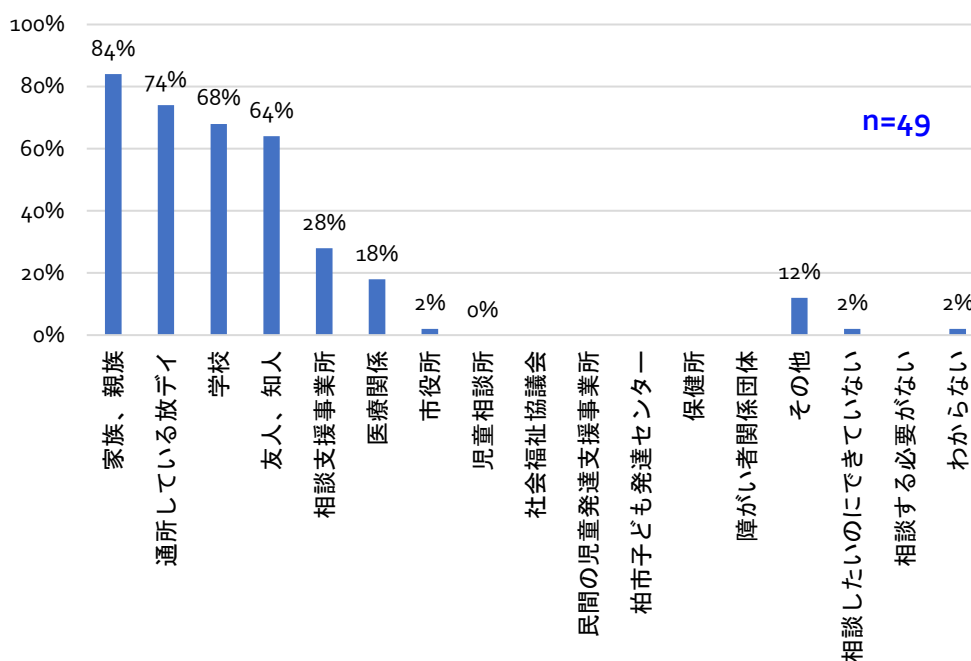
「大人になった時に希望する支援」として、「グループホーム」のスコアが大変高く評価され、次いで関連して「事業所」、「社会生活」、「福祉」、「支援」、「情報共有」、「立ち会う」、「手放し」、「障害年金」、「相談員」、「医療機関」、「暮らせる」、「自立」などのスコアも高く評価されていることがわかりました。



6. 悩みや困りごとの相談先

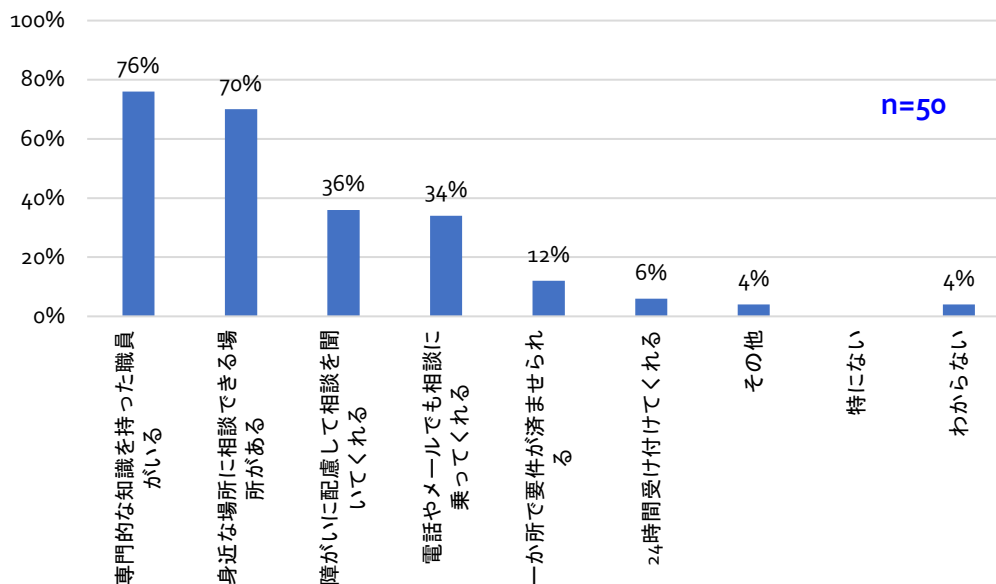
「悩みや困りごとの相談先」について、例を列記し、選択を尋ねたところ、相談先がない方はほとんどいらっしゃらないことがわかりました。選択された割合が高い順番に、「家族、親族」(84%)、「通所している放デイ」(74%)、「学校」(68%)、「友人、知人」(64%)、「相談支援事業所」(28%)、「医療関係」(18%)でした。

たくさんの放課後等デイサービス事業所の中から「ジュニアペガサスに話してみようかな…」と思ったださる保護者の皆様のお話を聞かせていただける事を大変ありがたく感じています。すぐに解決！とははならずとも、青葉会には専門的な知識を持った職員がたくさんいます。児童グループはもちろん、成人グループや柏市基幹相談支援センターのシャル等、青葉会全体で連携しお子様と保護者の皆様に寄り添っていけたらと思っております。お気軽にご相談ください。



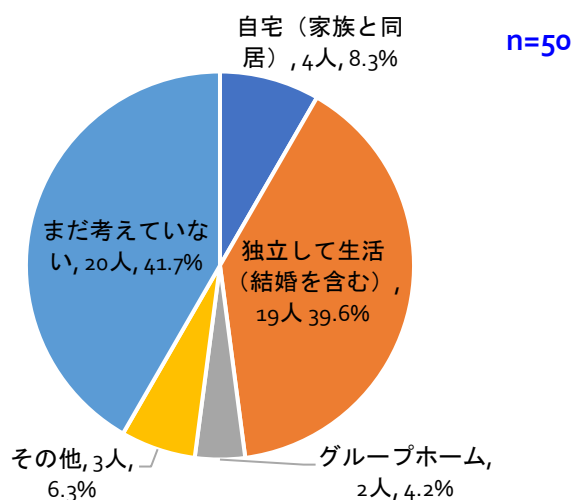
7. 悩みや困りごとを気軽に相談するために必要なこと

「悩みや困りごとを気軽に相談するために必要なこと」について、例を列記し、選択を尋ねたところ、選択された割合が高い順番に、「専門的な知識を持った職員がいる」(76%)、「身近な場所に相談できる場所がある」(70%)、「障がい配慮して相談を聞いてくれる」(36%)、「電話やメールでも相談に乗ってくれる」(34%)、「一か所で要件が済ませられる」(12%)、「24時間受け付けてくれる」(6%)、「その他」(4%)、「特にない」(4%)、「わからない」(4%)でした。



8. 子どもの将来の生活の場（期待）

「子どもの将来の生活の場（期待）」について、例を列記し、選択を尋ねたところ、選択された割合が高い順番に「まだ考えていない」(41.7%)、「独立して生活（結婚を含む）」(39.6%)、「自宅（家族と同居）」(8.3%)、「グループホーム」(4.2%)、「その他」(6.3%)でした。

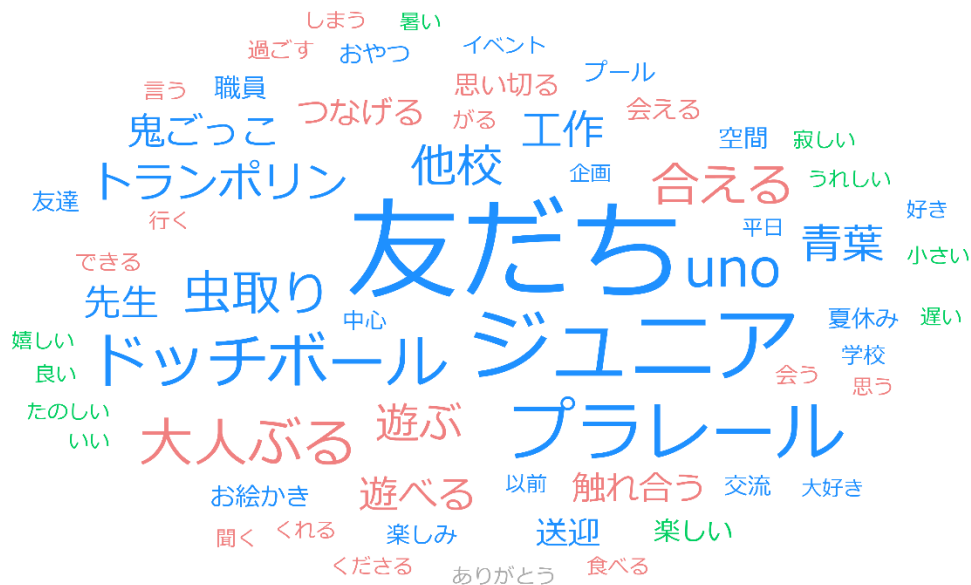


Ⅲ ジュニアペガサスについて

1. お子さんがジュニアペガサスに何を楽しみにして来てくれているか

「お子さんがジュニアペガサスに何を楽しみにして来てくれているか」を記述形式で尋ねたところ、42名の方から回答をいただきました（回答率 50%）。

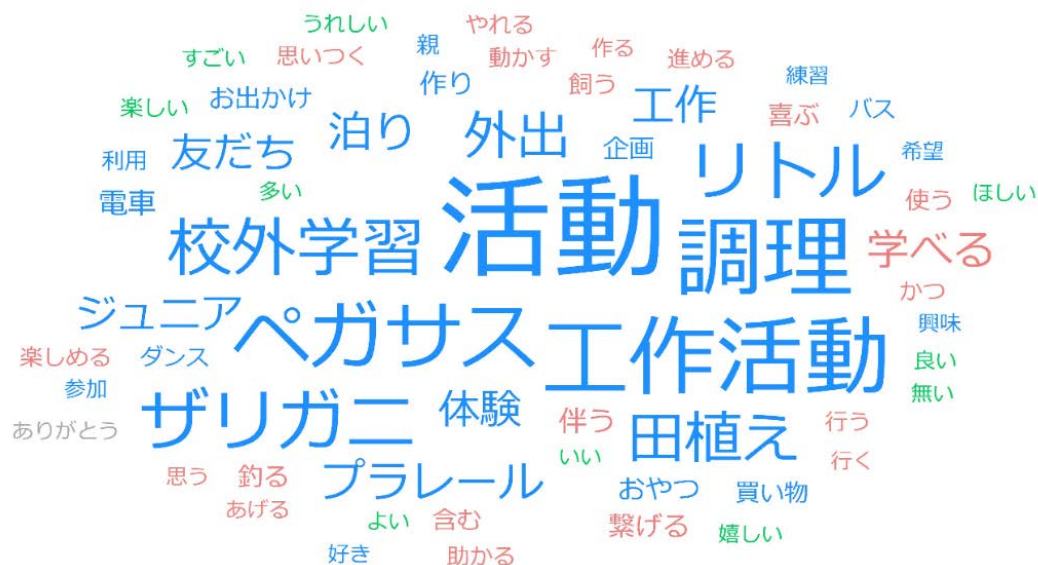
「ジュニアペガサスに来る楽しみ」として、「友だち」のスコアが大変高く評価され、また「ジュニア」そのものも大変高く評価されていました。次いで関連して「ドッチボール」、「プラレール」、「大人ぶる」、「会える」、「遊ぶ」、「鬼ごっこ」、「工作」、「uno」、「他校」、「トランポリン」、「送迎」、「先生」などのスコアも高く評価されていることがわかりました。



2. ジュニアペガサスで、今後取り組んでほしい活動

「ジュニアペガサスで、今後取り組んでほしい活動」を記述形式で尋ねたところ、31名の方から回答をいただきました（回答率 62%）。

「ジュニアペガサスで、今後取り組んでほしい活動」として、「校外学習活動」、「調理」、「工作活動」、「ザリガニ」のスコアが大変高く評価され、次いで関連して「外出」、「泊り」、「友だち」、「プラレール」、「田植え」、「学べる」、「工作」、「体験」、「リトルでのお泊り」などのスコアも高く評価されていることがわかりました。



今年度は、子ども達にも「ジュニアペガサスでどんな事をしたい？」とアンケートを取り、希望の多かった活動を「子ども達からのリクエストデイ」として土曜日や長期休み等の1日活動に取り入れています。その中でも「調理活動」は年齢・性別を問わず大人気の企画です。調理器具の使い方、衛生面への配慮、食事のマナーを知る以外にも「一緒に作ろう！」「一緒に食べよう！」「おいしいね！」「上手にできたね！」「また一緒に作りたいね！」と職員と友達と一緒に楽しみ、おいしさを共感する、そんな時間を大切にできたという思いが込められています。

また、昨年度のアンケートで「バスに乗ってみたいですか？」と質問させていただいたところ多くの保護者の皆様から「乗ってみたい！」とのご意見をいただき、今年の夏休みには「東武バスに乗ってららぼーと柏の葉へ行こう！」の活動を取り入れました。時刻表を読む、現金・ICカードを使っての公共交通機関の乗り方、バスの中では大きな声を出さない、席を譲り合う等、車内のマナーを大人と確認し、知っていく。将来1人で公共交通機関に乗るかもしれない。その為の第1歩！の体験をしました。

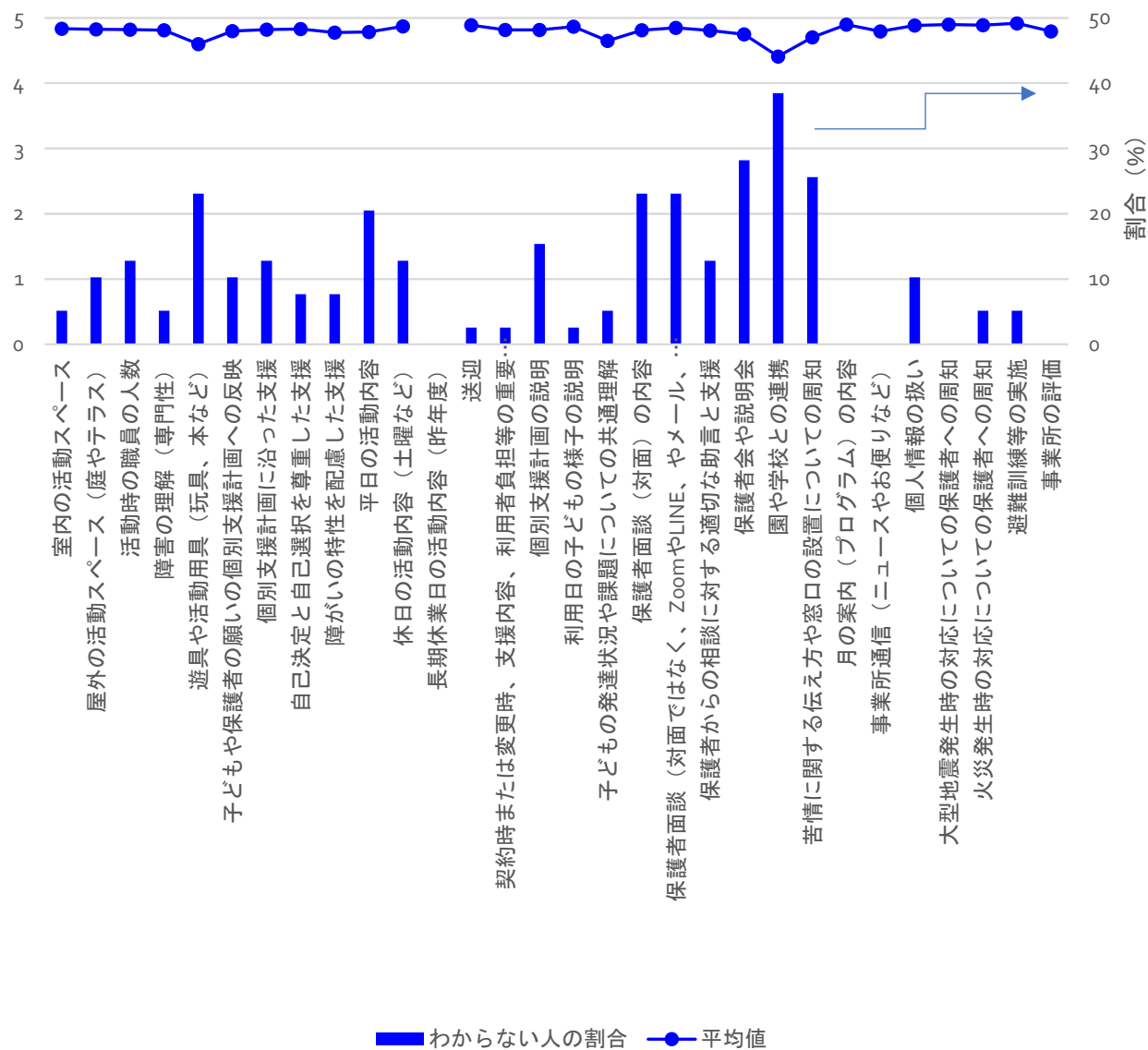
以上、今回のアンケートの結果と合わせて、今後の活動の参考とさせていただきます。

子どもたちがますます楽しみに通ってくれ、子ども達がほっと一息、第2のお家の様に安心して過ごせる大切な居場所である事、また、ジュニアペガサスでしか会えない友達と、遊びの中から相手を思いやる気持ち、ルールを守る、コミュニケーションの経験を積み「やった！」「できた！」の体験から「もっとやってみた～い！」の気持ちを十分に受け止める事で自信へ繋がり、そして社会に羽ばたけるよう。これからもジュニアペガサスの活動が子どもたちにとって大切な時間となるように、また保護者の皆様が「ジュニアペガサスだったら安心！」とお子様を送りだしていただけるよう、頂いた回答を真摯に受け止め、たくさんの工夫をしながら前進！のジュニアペガサスを今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(ジュニアペガサス職員一同)

7. 第2 ジュニアペガサス

I 今年度の活動



いつも第2ジュニアペガサスの活動にご協力いただきありがとうございます。

第2ジュニアペガサスは、リトルペガサス及びジュニアペガサスを利用されている方や、保護者の方のたくさんの希望の声に応える形で今年度4月より柏市布施に開所されました。今回のアンケートは、第2ジュニアペガサス開所から間もないこともあり、回答に困ってしまう項目も多々あったかと思います。そうした中でも、利用されている全ての方から回答を得ることが出来たこと、また、全体的な評価も5点（満足）に近い回答を得られたことに職員一同感謝の気持ちでいっぱいです。重ねて感謝申し上げます。

ここでは、アンケート結果を踏まえて、全体的に高い評価をいただいた項目、他と比べて満足度が足りなかった項目、そして「わからない」とする回答が多かった項目についてまとめた形でコメントさせていただきます。また、最後に第2ジュニアペガサスが現在行っている取り組みについてお伝えと紹介をさせていただきます。少し長くなりますが、ご拝読いただければ幸いです。

（1）活動スペースについて

室内の活動スペース、及び屋外の活動スペースについては、今回アンケート配布した全児童事業所の中で最も高い評価をいただいた一方で、「わからない」と回答された方も一定数いらっしゃいました。

第2ジュニアペガサスは、布施弁天やあけぼの山公園にほど近い築126年の大きな古民家を活動拠点としています。室内は8LDKあり、屋外には広い自由スペースがあります。子どもたちは広い部屋の中で好きな玩具で遊んだり、DVDを見ながらソファでゆっくりと過ごしたり、読書を試みたり、空いた部屋を使ってかくれんぼをしたり、屋外では、ブランコやキックボード、鬼ごっこなどをして日々、思い切り遊んでくれています。このように自由度の高い遊びを提供出来ることが高い満足度を得た要因と考えています。しかし、玩具や活動用具についてもご不明な点が多かったようですので、今後、通信（ニュース）などで事業所紹介を取り上げていきたいと思っております。ご期待ください。

（2）支援への配慮について

「自己決定と自己選択を尊重した支援」は、青葉会の全ての児童事業所で高い評価をいただいた項目です。これは、青葉会や第2ジュニアペガサスが大切にしているミッションやコンセプトにつながるものであり、取り組みを評価していただいたと嬉しく思います。一方、「子どもや保護者の願いの個別支援計画への反映」、「個別支援計画に沿った支援」、「障がいの特性を配慮した支援」については、「わからない」と回答された方も少なくありません。これらの項目については、私たちの伝え方や配慮が足りなかったと反省しています。今後は、個別面談や保護者会などの機会を通して丁寧に説明させていただきたいと思っております。

（3）活動内容について

休日の活動内容については、ほぼ全員から5点「満点している」と高い評価をいただき、関連して「月の案内の内容」についても高い評価をいただきました。しかし、活動内容が「わからない」方も多くいらっしゃる事がわかりました。これは、休日を利用されていない方たちの声でした。開所して間もなく、まだ夏休みを迎える前の調査であったことも大きく影響した項目でし

た。今後は、より多くの方たちに、とっても楽しい土曜日や学校の休日の活動にも参加していただければようご案内を差し上げていきます。

(4) 面談や保護者会について

面談や保護者会に纏わる項目は、「わからない」と回答された方が多くいらっしゃいました。まずは面談の項目について、第2ジュニアペガサスでは、5月～6月頃にかけて個別面談の機会を設けましたが、面談を希望されなかった方もいらっしゃいます。そのため、面談を実施していない一定数の方から「わからない」の回答をいただいたと考えています。今後は、面談の期間に余裕を持たせたり、面談場所に幅を持たせたりなどの配慮を行い、多くの方々と相互共有出来たらと思っています。

続いて保護者会について、第2ジュニアペガサスにおいてはまだ一度も保護者会を開催することが出来ておらず、その評価と感じています。既にご案内の通り、10月にジュニアペガサス、第2ジュニアペガサス合同の保護者会を予定しています。アンケートでお答えいただいた内容も踏まえ、日々の様子や取り組みについて丁寧にお伝えをさせていただきたいと思えます。

(5) 園や学校との連携

この項目については、他の項目と比べて満足度が低く、また「わからない」の回答を多くいただきました。私たちは、子どもたちのお預かりをさせていただく際、基本的な学校での様子や体調確認を先生と行い、その情報を家族にフィードバックするようにしています。ですが、このあたりの配慮や伝え方が不足していたことが十分な満足度を得られなかった要因と考えます。今後、学校から引継ぎや連絡事項があった際には、連絡帳や口頭、通信手段（電話やLINE）を活用しながら、適宜お伝えが出来るように工夫していきます。また、第2ジュニアペガサスでは、支援計画作成のためにご家庭で記入していただく「子ども目標」の中に「学校等の連携について」という欄を設けております。ご家庭によって「忘れ物の確認をしてほしい」「トイレに行ったか確認してほしい」など各々の確認事項がありましたら、是非ご活用いただき私たちまでお知らせ下さい。また、口頭でお伝えいただいても大丈夫ですので、お気軽にご相談ください。私たちはそのお伝えいただいた内容を基本的な引継ぎに加えて、学校と確認していきます。

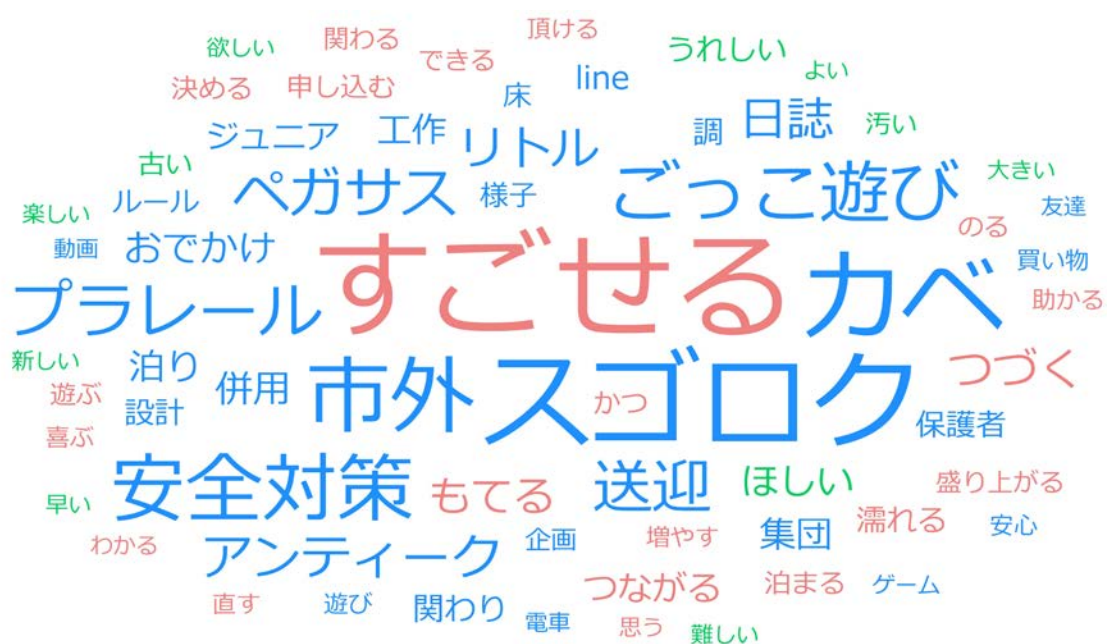
(6) 事業所評価について

開所して間もない中でのアンケートでしたが、多くの方に満足(5点)評価をいただき、少しホッと安堵しています。しかし、全ての方からの満点評価でないことから、事業所の取り組みが不足していたり、また、物足りなさや不満を感じていらっしゃる方がいることがわかります。こうしたアンケートなどの機会を活かして、貴重な意見に真摯取り組み、皆様に満足いただける事業所を目指してまいります。

2. 第2 ジュニアペガサスで工夫をしてほしいこと

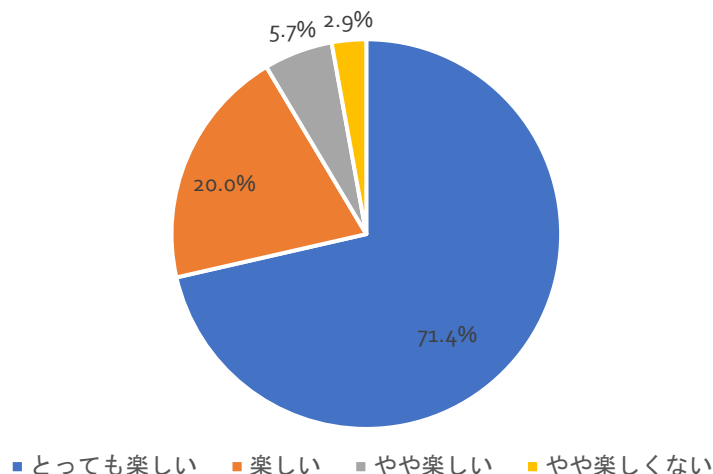
「第2 ジュニアペガサスで工夫をしてほしいこと」を記述形式で尋ねたところ、27名の方から「すごせる」＝「過ごし」の部分に工夫を求められている回答をいただきました（回答率 69%）。

いただいた回答から、また、「第2 ジュニアペガサスで工夫をしてほしいこと」として、「すごせる」、「市外でも送迎を使いたい」のスコアが大変高く評価されていました。次いで関連して「大きいプラレールがほしい」、「集団での活動」、「アンティーク調はいいが安全対策」、「スゴロクをみんなで」、「ごっこ遊び」、「リトルのお泊り」、「保護者参加」、「おでかけ」、「泊まり」、「ジュニアペガサスとのコラボ企画」、「日誌」、「工作」などの活動や遊びへの工夫を期待しているスコアも高く評価されていることがわかりました。



4. 第2 ジュニアペガサスの遊びや活動の評価

「第2 ジュニアペガサスの遊びや活動の評価」について、満足度を子ども達に聞きました。選択の割合の高い順に、「とっても楽しい」(71.4%)、「楽しい」(20.0%)、「やや楽しい」(5.7%)、「やや楽しくない」(2.9%)となりました。たくさん子どもたちに満足していただいていることがわかりました。利用されている全ての方に「とっても楽しい」と感じていただけるような事業所を目指していきます。

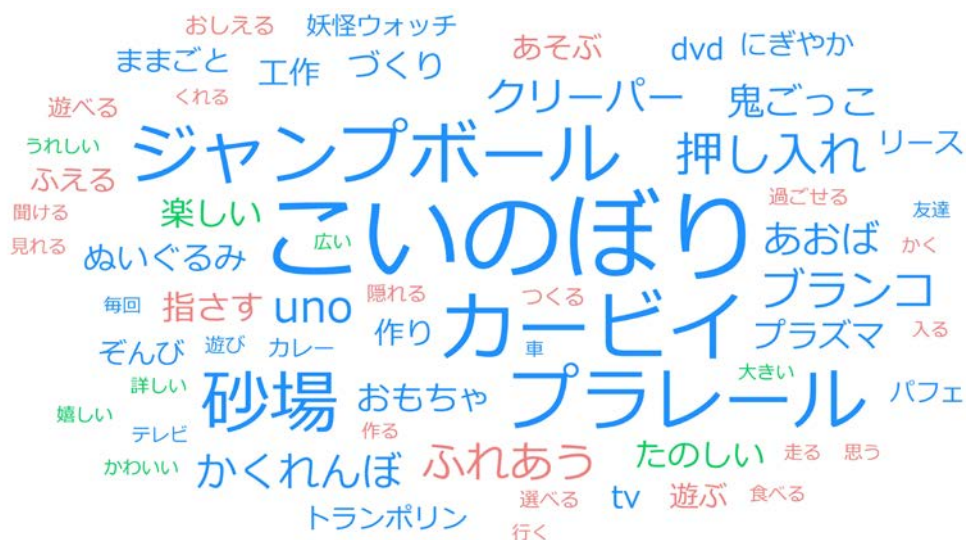


5. 第2 ジュニアペガサスで楽しかったこと

「第2 ジュニアペガサスで楽しかったこと」を記述形式で尋ねたところ、37名の方から回答をいただきました（回答率95%）。

「第2 ジュニアペガサスで楽しかったこと」として、「こいのぼりづくり」、「集団行動」、「第2 ジュニアペガサスそのもの」のスコアが大変高く評価されていました。次いで関連して様々な遊びのスコアも高いことから、日々の遊びや関わり、活動が評価されていることがわかりました。

今回いただいた回答をもとにして、さらに子どもたちが楽しんでもらえる活動を提供していきますので、ご期待ください。



6. 第2ジュニアペガサスでつまらなかったこと

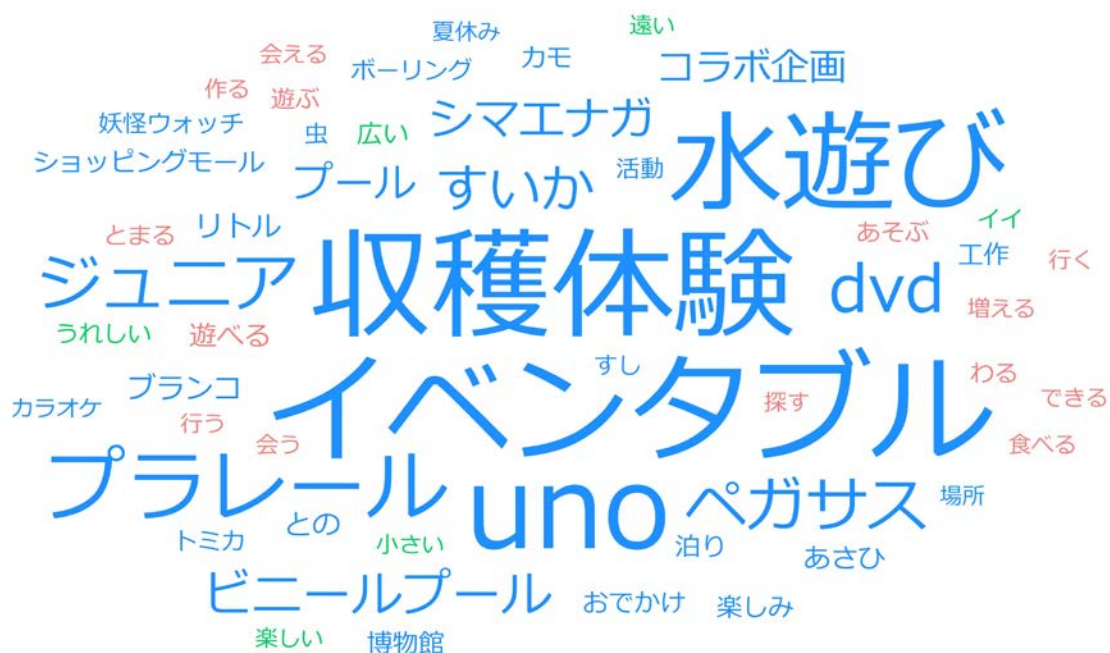
この項目については、「ない」の意見が大半となり、多くの子どもたちが楽しく、満足をしなが
ら事業所を利用していただいていることがわかりました。個々でいただいた思いや意見（清掃面、友
人関係、遊びなど）については、真摯に受け止め、改善に努めていきます。

様々な気づきがありましたら、今後とも事業所までお知らせ下さい。

7. 第2ジュニアペガサスで楽しみにしていること、やってみたいこと

「第2ジュニアペガサスで楽しみにしていること、やってみたいこと」を記述形式で尋ねたと
ころ、35名の方から回答をいただきました（回答率90%）。

「第2ジュニアペガサスで楽しみにしていること、やってみたいこと」として、「収穫体験」、
「イベントブルな活動」、「水遊び」のスコアが大変高く評価されていました。次いで関連して「ジ
ュニアペガサスとのコラボ企画」、「プラレール」、「DVD」、「uno」、「すいか割り」のほか、様々な遊
びや活動のスコアも高く評価されていることがわかりました。今後の活動に参考にさせていただきます。
ありがとうございます。

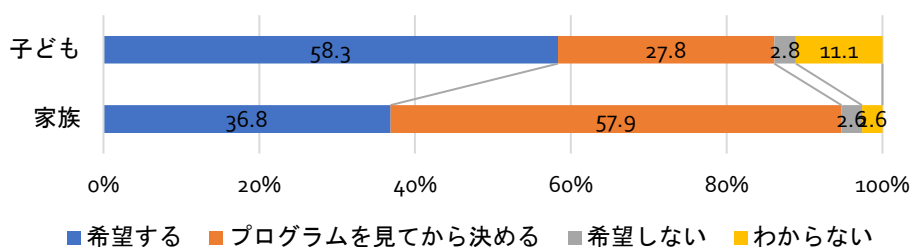


Ⅲ 第2 ジュニアペガサスの企画

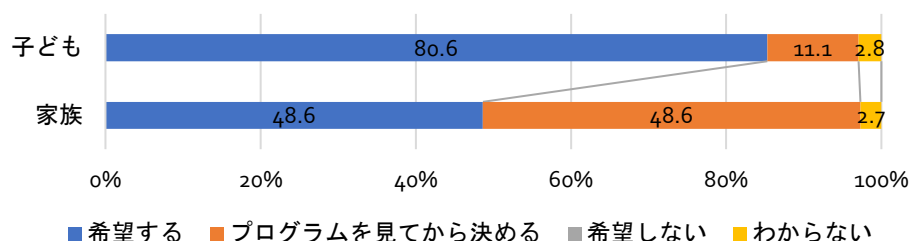
1. 第2 ジュニアペガサス企画のイベントへの参加希望

第2 ジュニアペガサス企画のイベントとして、「家族参加のイベント」、「公共交通機関を使った外出」、「あおば短期の恒例お泊り会」、「一泊旅行（子どもだけで）」について、子どもたちとご家族に対して参加希望を尋ねたところ、いずれも賛同をいただく一方で、ご家族の想いと子どもたちの希望が必ずしも一致していないことも知りました。大変興味深いご意見であり、楽しい企画作りの参考とさせていただきます。

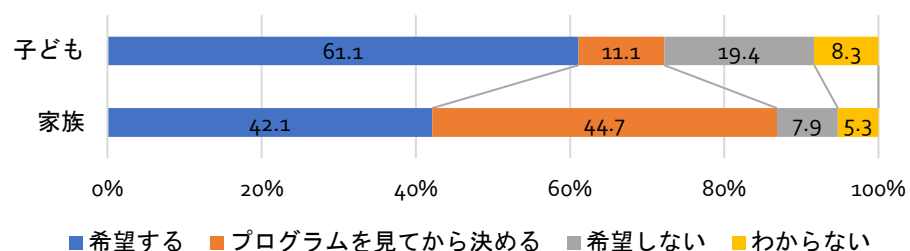
家族参加のイベント



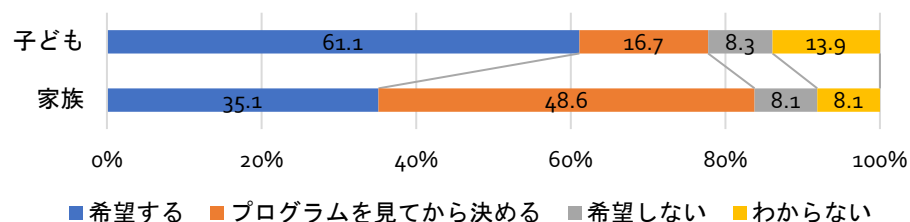
公共交通機関を使った外出



あおば短期の恒例お泊り会



一泊旅行（子どもだけで）



2. やってみたいこと、行ってみたいところ

「やってみたいこと、行ってみたいところ」としていただきましたご意見をそのままご紹介します。具体的なご提案をいただき、とても参考になりました。

- ・ 水族館や、なにか一緒に体験できるもの。
- ・ 田植えなどは実際の田んぼでできたらいいなと思います。
- ・ 子（バスにのりたい。恐竜博物館（茨城県自然博物館） USJ にいきたい。）
- ・ 親（自然体験やキャンプなど バリバリ過酷なものではなく、この位ならいけそう、と思えるレベルのもので）
- ・ すいぞくかん
- ・ お泊りは経験させてあげたい。幼稚園ではお泊りがなくイベントはことわられてイベントに出れない事が多かったので子1人のお泊りをしたことがありません…。
- ・ 家族で参加できるような BBQ イベントがあればいいなと思います。
- ・ 第2 ジュニアペガサスの広い大きなお家を活用して親子でお泊りできるような企画があったらいいなと思います。
- ・ 綾瀬車両基地をおともだちみんなと一緒に見学したいと思います。
- ・ てつどうはくぶつかん
- ・ スイカ割りなど夏らしいイベント
- ・ 運動会を親子参加でやってみたい
- ・ 色々な経験をさせてやりたいが、親と一緒にだと親にやらせようとしてきた。なんとなくいやがる事がるので。みんなと行くと楽しくできるのかな？と思っています。
- ・ 水族館、動物園、ふれあい動物園、森の遊園地
- ・ 遊び場を貸しきってみんなで遊ぶ等
- ・ 大きな紙に絵を描く
- ・ リニモに乗って旅行したいです
- ・ おやつ作り
- ・ ソース作り
- ・ 国立科学博物館筑波実験植物園
- ・ すみだ水族館
- ・ そうめん流し、バーベキュー
- ・ 野菜収穫、果物狩り など
- ・ 特性のある子と出かけにくい、体験させにくいことを一緒にやりたいです。
- ・ あおばのお泊り会は9日以降に参加していきたいと思います。
- ・ 一泊旅行も参加したいですが、曜日を見て可能ならお願いしたいです。
- ・ 近場でもよいです。
- ・ 子どもからは「おばあちゃんの家」とだけしか聞けませんでした。
- ・ いちご狩り、ぶどう狩り、低学年むけの遊園地など上の子と歳が離れている（中1）ので、こういった施設には、家族で行くことが難しいです。

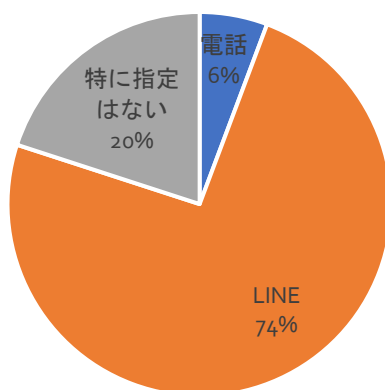
- ・ 第2ジュニアの先生方、第2ジュニアのお友達と一緒にいけると楽しく遊べそうな気がします。ぜひ企画していただきたいと思います。
- ・ バイクが好きなので旅行に行ったらバイクがしたいです。
- ・ 新幹線を見に行きたい
- ・ お泊り会で花火をやりたい
- ・ 普段の子どもの生活の流れをベースに、大きく崩れないようにして頂けたら有難い。ルーティンと違う場合は折り合いをつけられるように、職員の方とやりとり（約束や理由の説明等）を大切に頂けたらと思います。
- ・ あけぼの山公園へ行ってみたい！！
- ・ キャンプ、BBQ、川遊び、海（との事です。）
- ・ 沖縄なら行きたい（笑）
- ・ よく知っている先生方のもとで一泊する経験をしてみたいです。
- ・ 高学年になったら、子どもだけで一泊旅行もいいですね。
- ・ 近場で良いです。
- ・ ディズニーランドに行ってみようと思います。
- ・ 家族でも自然が大好きで、山や川に行きますが、友達と行って見て、色々協力してやる事を体験させてみたいです。
- ・ 高学年になると学校で体験学習もあるので、タイミングが合えば、お泊り会も参加させてみたいです。
- ・ キャンプ
- ・ 電車に乗って観光したい（都会の駅）
- ・ 特急列車や新幹線ならなおよし！！
- ・ 鉄道博物館に行きたい！
- ・ 森のゆうえんち

IV 利用キャンセルがあった時の案内

日々の利用の中で突然の体調不良や私用による用事で欠席される方も少なくありません。そのため、皆様の希望をお聞きし、たくさんの方々に利用してもらえるようにしていきたいと思えます。お答えいただき、ありがとうございます。ご案内の参考にさせていただきます。

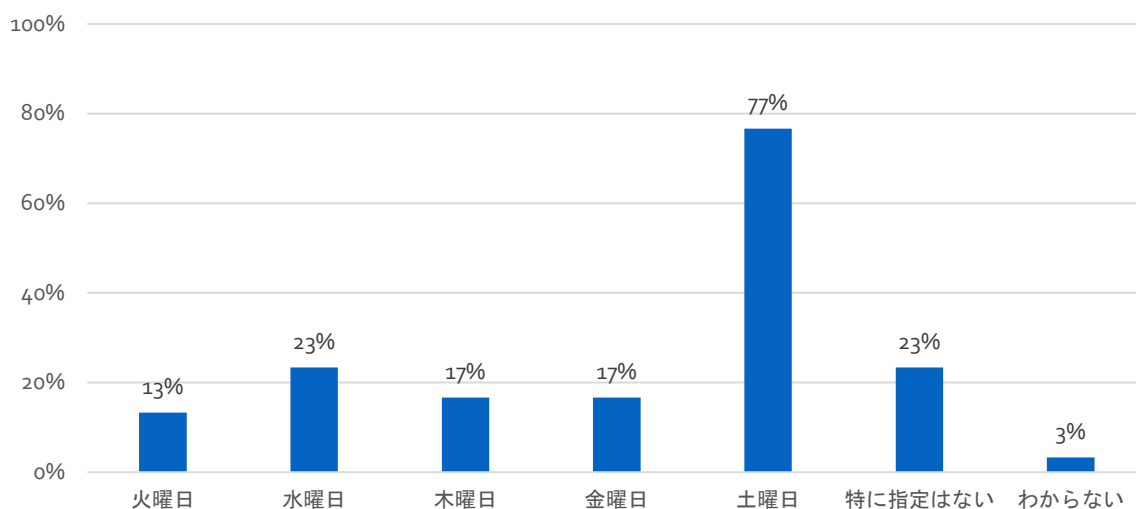
1. キャンセルで利用枠に余裕ができた時に希望する案内方法

「キャンセルで利用枠に余裕ができた時の案内」について、案内方法を列記して一つだけ選択してもらったところ、圧倒的に「LINE」(74%)が多く、次いで「特に指定はない」(20%)を選択されました。



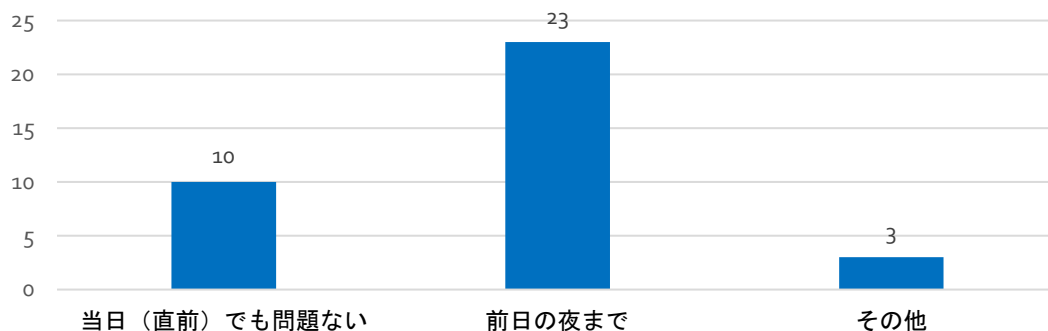
2. 学期中で（長期休みを除く）キャンセルがあった場合に、利用可能な曜日

「利用可能な曜日」を尋ねたところ、「土曜日」(77%)のご希望が最も多く、次いで「水曜日」(23%)、「特に指定はない」(23%)、「木曜日」(17%)、「金曜日」(17%)、「火曜日」(13%)となりました。



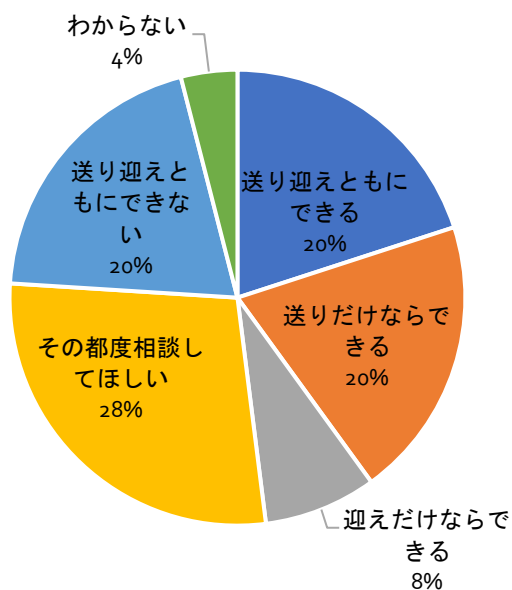
3. キャンセルがあった場合に、利用のご案内はいつまでが良いか

「キャンセル時の利用のご案内」についていつまでにご案内差し上げればよいか尋ねたところ、「前日の夜まで」(63.9%)、「当日(直前でも問題ない)」(27.8%)、「その他」(8.3%)の回答をいただきました。



4. キャンセルがあった場合の家族での送り迎え

「キャンセルがあった場合の送迎」について尋ねたところ、「その都度相談してほしい」(28%)が最も多く、次いで「送り迎えともにできる」(20%)、「送りだけならできる」(20%)、「送り迎えともにできない」(20%)となりました。



最後に、今回のアンケートから、第2ジュニアペガサスは開所して間もないこともあり、様々

な活動がまだまだ認知されていないことがわかりました。今回の報告を良い機会とし、第2ジュニアペガサスの取り組みについて知っていただければと思います。

姉妹事業所の関係となるジュニアペガサス・第2ジュニアペガサスは、以下の①～③のオリジナル基本コンセプトを基に活動しています。第2ジュニアペガサスでは、基本コンセプトに加え、④～⑥を特色とし、強みある事業所を目指していますので、ここで紹介させていただきます。

ジュニアペガサス・第2ジュニアペガサス オリジナル基本コンセプト

- ① リトルペガサスで育った心と体のさらなる健やかな成長
- ② 小学校時代に体験しておきたい小集団でのジュニアペガサス・第2ジュニアペガサスならではの関わり
- ③ 家庭や学校との連携

ジュニアペガサス・第2ジュニアペガサスでは、これらの活動を遊びを通して実施し、利用児のコミュニケーションスキルを高め、社会性をのばすこととしている。

具体的には、次のような「遊びの場」である。

- こどもたちが、友だちや大人と一緒にたくさん「遊ぶ」ことで“楽しかった！！”“また行きたい！！”と思える居心地の良い場所。
- 「遊び」の中で、社会性を身につけていける楽しく自然に学べる場所。
- リトルペガサスで、親子で頑張ってきたお母様の願いをしっかりと受け止め、丁寧な親子支援を心がけ信頼される事業所をめざし取り組んでいる温かい場所。

第2ジュニアペガサスが目指す、強みある特色

- ④ ご家族や子どもたち一人ひとり、一つひとつの「声」に耳を傾け、丁寧な支援、丁寧な対応を心がけていく。
- ⑤ 子どもたちの「やりたい」、「やってみたい」の気持ちを大切に、自分たちで考え、それが実現できる事業所を目指していく。
- ⑥ 自然豊かでのびのびと遊べる、そうした面を最大限に活かし、季節ごとのイベントだけではなく、農作物や園芸、生き物の飼育、木登りや虫取り、など、幅広く自然と触れ合う機会を設け、家庭や学校、他施設では味わえない体験や経験をたくさん積んでもらう。

第2ジュニアペガサスでは、ご家族の想いをもとにして、子どもたち一人ひとりの気持ち（意見）を大切にしています。そのため、活動中であったり、様々な場面で子どもたちの声を聞かせていただいております。簡単にですが、取り組みの一部を紹介します。

- ・ 提供する活動や提供のお菓子、遊びの玩具などをアンケート（人気投票）形式にして、子どもたちがより楽しく、期待感を持って利用できるようにしている。
- ・ 事業所案内や事業所ニュースなどはフリガナを振り、家庭で子どもたちが自分で活動を選んだり、家族に相談したり、活動の風景を報告したりなど出来るようにしている。

- ・ 支援計画作成や保護者アンケートなどの機会を利用し、子どもたちが自分の気持ちを表現できるような機会を作っている。

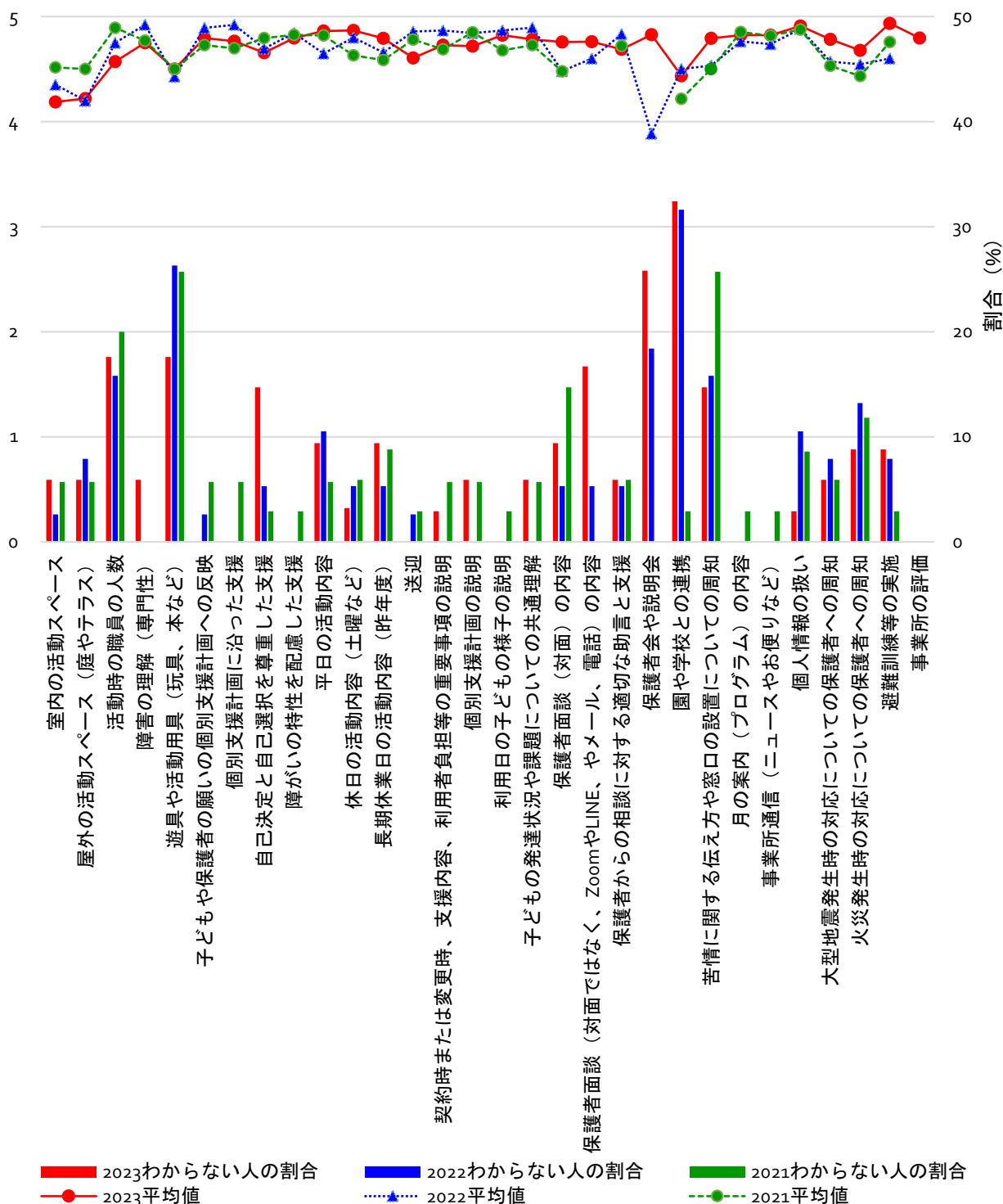
他にも日々の活動の中で、可能な限り子どもたちが希望する遊びを提供したり、自分で選択して決められる場面（おやつや遊ぶ順番など）を作ったり、自主的に準備や行動が出来るような環境設定（スケジュールや送迎順の掲示等）を行っています。

事業所として、まだまだこうした取り組みを保護者の皆様に周知出来ていなかったり、また、配慮が足りず、ご心配をおかけしてしまうこともあるかと思えます。今回のアンケートの結果がそうした声と認識しています。今後、気になることや気づいたこと、不満や相談などがありましたら、なんでも構いませんので、是非、お気軽に事業所職員までお声かけいただければと思います。今回は、子どもたちへの取り組みを中心にお伝え致しましたが、子どもたちの支援には、保護者の方、ご家族の方の視点や気づきが大切と感じています。第2ジュニアペガサスがより良い事業所となるように今後ともご協力いただけますと幸いです。ご拝読いただきありがとうございます。今後ともよろしくお願ひ致します。

(第2ジュニアペガサス職員一同)

8. 自閉症サポートセンター ペガサス

I 今年度の活動



今年度も、アンケートをお配りさせて頂いた全ての方からご回答頂きました。お忙しい中ご協力頂きありがとうございます。今回は保護者会を開催し、対面でお話をさせて頂いてからご回

答を頂きたく、締め切りまで忙しい思いをさせてしまった方々もいらっしやっただと思ひ、申し訳なく心苦しい気持ちです。他方で、保護者会には欠席でしたが「ダンスが見れず残念！」等と一言添えてくださるお母様方に感謝の気持ちでいっぱいです。

今年度のアンケート結果では、過去2年間「わからない」の回答が多かった「遊具活動道具」、「相談・苦情対応」、「非常災害対策」の項目に関しては「わからない」という回答が少なくなりました。一方、保護者会に参加できなかった方にもペガサスの内容をご理解頂けるように、今回は重要事項説明書と一緒に補足説明を入れた別紙をご用意させて頂きましたが、昨年よりも全体的に「わからない」と回答される方が増えてしまいました。今回「わからない」との回答が多かった項目と、他項目より評価の低かった項目について、ここであらためてお話させて頂きたいと思ひます。そして様々な工夫を考え今後の改善へ繋げて参りたいと思ひています。

(1) 自己決定と自己選択を尊重した支援

5点満点で4.7近くの高い評価を得ている一方で「わからない」と回答された方が昨年度よりも多くいらっしやいました。その子一人一人に寄り添う中で、子どもが自分の気持ちを相手に伝えられるように、私達大人が色々な方向から手立てを考え、工夫することで引き出し、子どもの「伝わった！わかってくれた！」という嬉しい気持ちを自信に変え、「どっちにしようかな？」「何をしようかな？」と自分で考えて行動ができる経験へとつながるように支援して参ります。そのために、スモールステップで細やかに寄り添い、それぞれの「やった~！出来た！」の経験を沢山積んでいきたいと思ひています。

(2) 長期休業日の活動内容

長期休業日の活動内容の評価は4.79と、平日の活動の評価4.86、休日(土曜日)の活動評価4.87と同じく極めて高い評価をいただきました。

公共交通機関を使つての外出活動の制限も緩和されてきたこともあり、「今年度はペガサスでもどこかにいけたらいいな」とお話をくださった方がいらっしやいました。そこで休日(土曜日や長期休業日)には、安心して楽しい外出活動を行えるように、目配り・気配り・阿吽の呼吸で配慮し合えるチーム体制を整えて外出活動へ繋げて行けたらと思ひます。今年度の4月1日の初めての活動日に柏ふるさと公園でのインクルシブ公園にお出掛けをしたり、ふれあいフェスタで外の活動をしたりと一つひとつ経験を積んできていますが、今後は電車での活動等も楽しんでいけたらと考えていますので、ご期待ください♪

(3) 保護者面談(対面、ZoomやLINE、メール、電話)の内容

今年度は対面で面談や保護者会が再開されました。対面でお話がし合える事で、子ども達のかわいいエピソードや学校でがんばっている様子やお家でやんちゃしている姿だけでなく、時には子どものことから離れて広く保護者の方とお話をする事ができ、今年度は昨年度よりも高い評価を頂きました。このような面談は、私たち職員のパワフルパワーの源となっています。ありがとうございます。設定した日にちや期間にご都合が合わず出席・参加が難しい方もいらっしやいます。今回リクエストもありましたZoomでの参加等も積極的に取り組む事も改善策のひとつと考えています。また皆様に声掛けをしていき周知していく事も大切な一歩と考えています。

(4) 学校との連携

昨年も「わからない」が多かった項目です。情報共有が必要な時には相談事業所に連絡をして関連している他事業所との会議のセッティングをして頂く事も出来ます。学校の情報も大切な時には、学校のコーディネーターの先生や担任の先生等に参加して頂く時もあります。会議の場には積極的に参加をしています。

また、学校から事業所での過ごしの様子を聞いてくださる事もあります。毎日のお迎えの時に引率の先生より引き継ぎを受け連携を図っています。

(5) 避難訓練等の実施

4月から各月の最終週に曜日を変えて、月の最終週の曜日ごとに、順番で避難訓練を実施。毎月、各月の最終週に曜日を変えて、順番で避難訓練を実施しています。実施する日をお便りの活動カレンダーに記し、お知らせしています。実施した日は連絡帳に書くようにしています。

事業所での避難訓練は「自分のやっている事・やりたい事を少しの時間やめ、我慢して外に出る」ことを目標に第1避難所の庭に出るところまで実践しています。はじめはなかなか出られずにいる子ども回数を重ねると出られるようになったり、継続して何度も経験する事の大切さを実感しています。ペガサスでは「避難訓練するよ!」という声掛けでスタートし、いざという時も「避難訓練するよ!」の合図で避難を開始します。「火事だ」「地震だ!」と直接的な単語で伝えるよりも落ち着いて行動出来る言葉かけだと考えているためです(大人にもかな。)

ペガサスでの避難訓練とは別で、年に1回、法人全体の避難訓練を実施しています。昨年度の3月と今年9月の訓練では、保護者の皆様らしくらく連絡網の通知訓練にご協力頂きました。ありがとうございました。災害時の連絡手段のひとつとしてご登録して頂けたら安心です。まだご登録がお済みでない方がいらっしゃいましたらこの機会に是非お願い致します。登録方法がわからない場合は、おっしゃってくださいね。今回9月の避難訓練では、初めて子ども達に参加しての第2避難所(ペガサスの駐車場)まで子ども達と歩いて移動しました。落ち着いて皆で列になり、広がる事なく歩けました。

昨年度に引き続き、今年度も音楽遊びを積極的に取り入れ楽しんでいきます。

楽器を作るところから始まった音楽遊びは、なりきりピアノでステージを楽しんだり、指揮者になったり、「ドレミ…」の音階を意識して弾いたり、色々なことにチャレンジしている高校生もいます。少し音が苦手だった友達が楽器に近付いていき指先で音をならして楽しむ姿も見られるようになってきました。青葉祭での音楽ステージもどうぞお楽しみにしてくださいね。

そしてこの場をお借りして、あらためてお礼を申し上げたいことがございます。

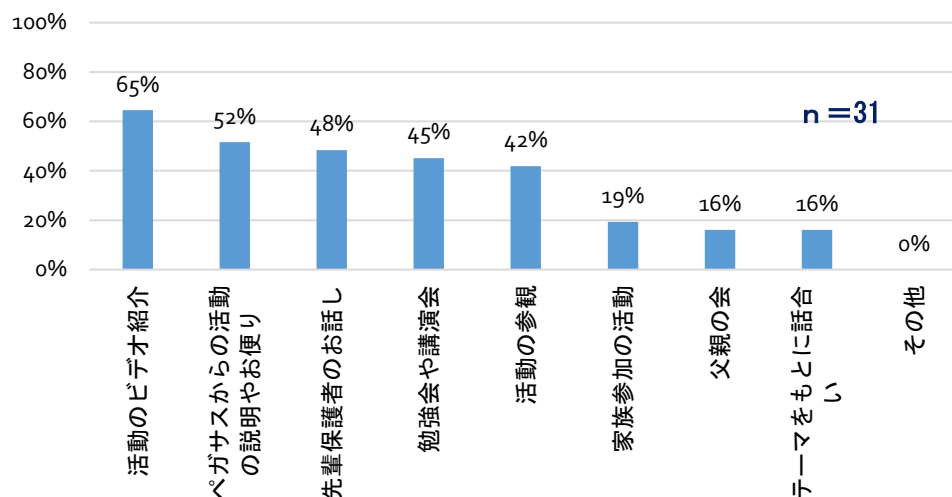
ペガサスの本や玩具は、ご家庭からご寄付して頂く機会が多くとっても助かっています。

すぐに壊れてしまったり、使いこなして劣化してしまう頻度が高いため、このような皆様からのご協力は、とてもありがたく感謝の気持ちでいっぱいです。是非、ご家庭で使わなくなってしまった玩具や、使っていない物、処分しようと思っているんだけど...という遊び道具がありましたらお声掛け頂けたら嬉しいです。

II 保護者同士の縦横の繋がりや、気軽に話が聞ける・話が出来る交流の場

1. 保護者会（話し合いや、勉強会・講演会）で希望される内容

「保護者会で希望される内容」について、内容を列記し、選択を尋ねたところ、選択された割合が高い順番に、「活動ビデオの紹介」（65%）「ペガサスからの活動の説明やお便り」（52%）、「先輩保護者のお話し」（48%）、「勉強会や講演会」（45%）、「活動の参観」（42%）でした。



最も希望の高かったペガサスでの子ども達の活動の様子については、その時々表情をじっくり見て頂けるよう保護者会の中だけではなく、会が始まるまで繰り返し見て頂けるような工夫もしています。活動の時に撮った写真はUSBに入れてお渡しも出来ますのでどうぞお声がけください。

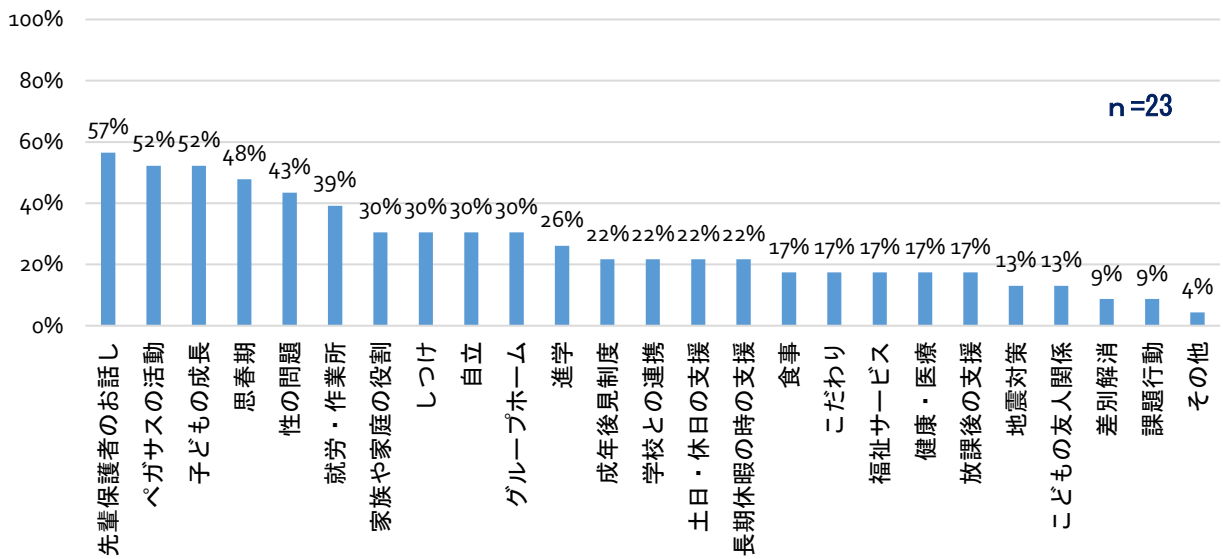
今年の6月に行った保護者会で少し時間ができ、何人かのお母様とお話会をすることができました。異年齢のお子様のお話を聞く事が出来たり、ママ同士でお話しが出来たことにご好評頂きました（とてもよいひとときでした。）。「先輩保護者のお話し」や「勉強会や講演会」のご希望も高かったので、今後も企画して参りたいと思います。

2. 興味のある話し合いや、勉強会・講演会のテーマ

「興味のある話し合いのテーマ」と「興味のある勉強会・講演会のテーマ」について、同じ例を列記し、選択を尋ねたところ、特に関心のあるテーマは、前者がまさに今の関心事である「先輩保護者のお話し」、「ペガサスの活動」、「子どもの成長」、「思春期」、「性の問題」、「就労・作業所」である一方で、後者はいわゆる成人後であったり親なきあとのテーマである「グループホーム」、「就労・作業所」（66%）、「成年後見制度」、「福祉サービス」であることがわかりました。

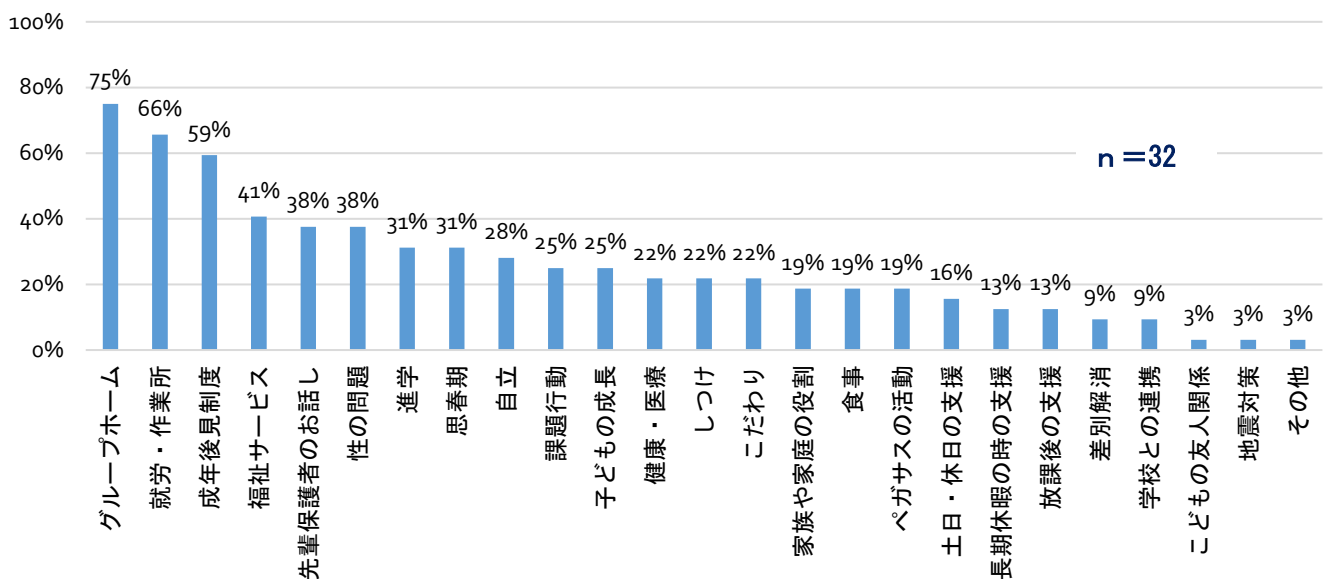
（1）興味のある話し合いのテーマ

「興味のある話し合いのテーマ」について、選択された割合が高い順番に並び変えました。高い順番に「先輩保護者のお話し」（57%）、「ペガサスの活動」（52%）、「子どもの成長」（52%）、「思春期」（48%）、「性の問題」（43%）、「就労・作業所」（39%）でした。



(2) 興味のある勉強会・講演会のテーマ

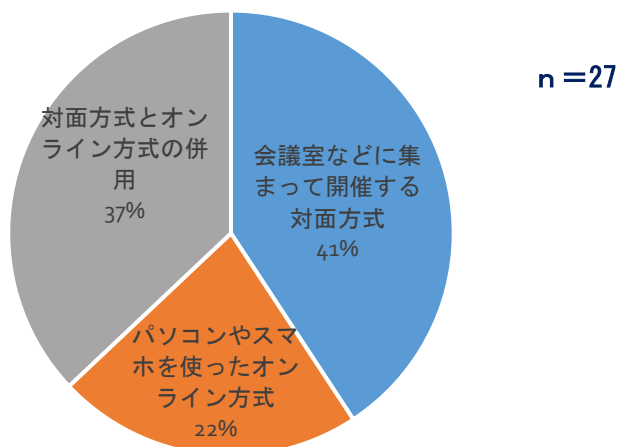
「興味のある勉強会・講演会のテーマ」については、「グループホーム」(75%)、「就労・作業所」(66%)、「成年後見制度」(59%)、「福祉サービス」(41%)、「先輩保護者のお話し」(38%)、「性の問題」(38%)、「進学」(31%)、「思春期」(31%)でした。



2 (1) と (2) より、先輩ママとの交流のきっかけがある事は、異年齢で過ごせる放課後等デイサービス事業所ならではだと感じます。対面での保護者会が再開し、これから様々な方法で積極的にお母様方の関心のあるテーマに沿って実施していきたいと思えます。勉強会や講演会のテーマとして関心のあるグループホームや就労・作業所などのお話しは、身近なところでは法人の作業所説明会の場を利用して頂きますと情報が聞けます。また「後見人制度」などの話は法人のグループホームが主催する事例検討会などでテーマになる時があります。情報を発信いたしますので是非チェックしてみてください。他にも私達から情報を積極的にお伝えしていきます。

3. 参加しやすい開催方法

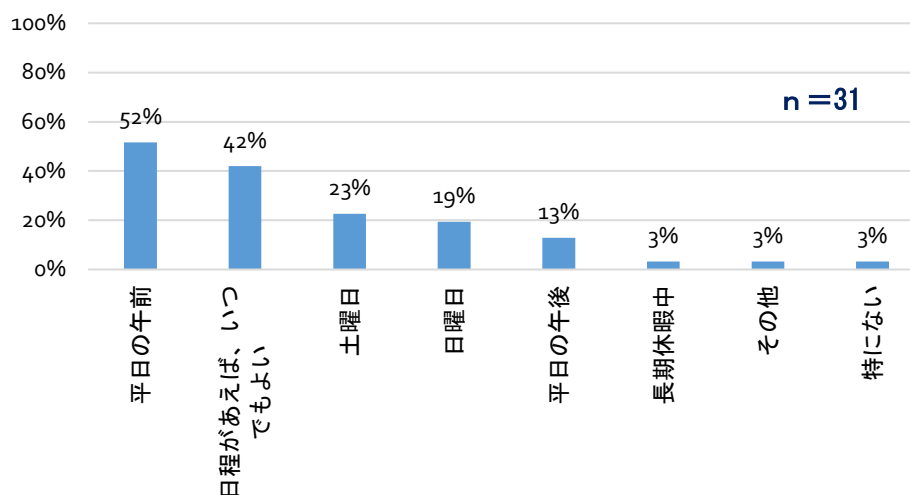
話し合い、勉強会・講演会に「参加しやすい開催方法」について、開催方法の例を列記し、選択を尋ねたところ、選択の割合が高い順に「会議室などに集まって開催する対面方式」(41%)、「対面方式とオンライン方式の併用」(37%)、「パソコンやスマホを使ったオンライン方式」(22%)となりました。



興味関心があり参加したいのに、参加の方法が課題なのだとしたら一番に改善しなくてはいけないと思いました。「今回、オンラインでの参加が出来たらよい」というご意見を頂き早速実践出来るよう他事業所に倣い実践出来るよう準備して行きたいと思います。

4. 参加しやすい日時

話し合い、勉強会・講演会に「参加しやすい日時」について、例を列記し、選択を尋ねたところ、選択の割合が高い順に、「平日の午前」(52%)、「日程が合えば、いつでもよい」(42%)、「土曜日」(23%)、「日曜日」(19%)、「平日の午後」(13%)、「長期休暇中」(3%)、「その他」(3%)、「特になし」(3%)となりました。

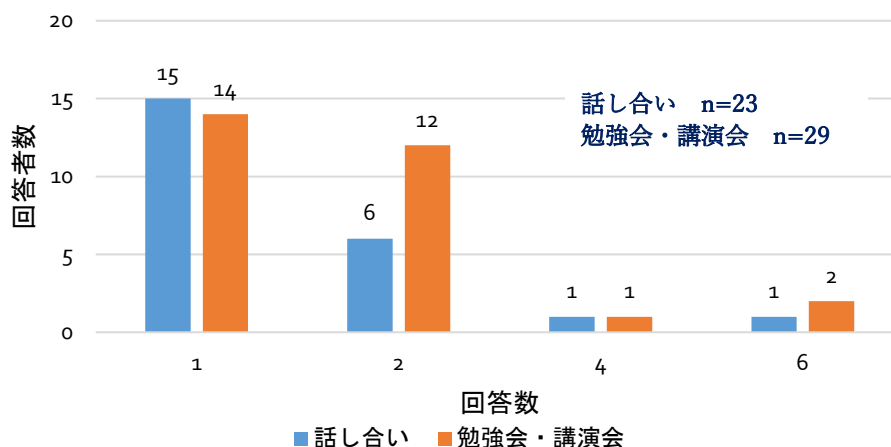


5. 年間の開催希望数

「話し合い、勉強会・講演会の年間の開催希望数」について回数の記述形式で尋ねました。

「話し合い」については、「1回」(15名)、「2回」(6名)、「4回」(1名)、「6回」(1名)となりました。

また、「勉強会・講演会」については、「1回」(14名)、「2回」(12名)、「4回」(1名)、「6回」(2名)となりました。



6. 魅力的な保護者会（話し合いや、勉強会・講演会）

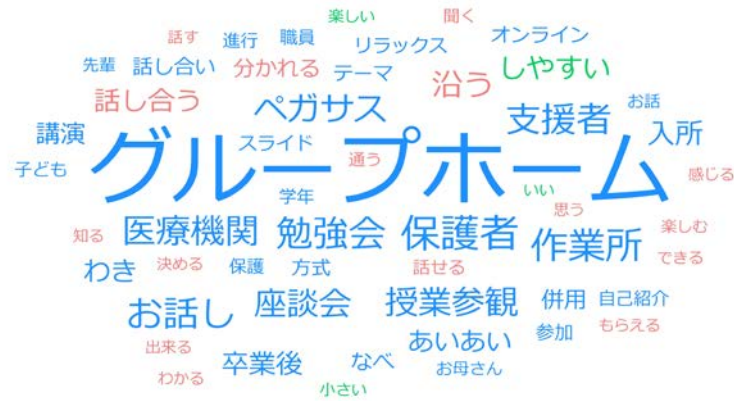
「魅力的な保護者会（話し合いや、勉強会・講演会）」について記述形式で尋ねたところ、19名の方から回答をいただきました（回答率56%）。

いただいた自由記述の回答は、「AIテキストマイニング by ユーザーローカル」を使用してテキストマイニング解析を行いました。よく出現する単語ほど重視してスコアが高いと評価し、出現頻度が高くスコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさで中心から図示されています。また、単語の出現傾向が似た単語ほど近く、似ていない単語ほど遠く位置しています（以下、自由記述は、同じ解析を用いました。）。

「魅力的な保護者会（話し合いや、勉強会・講演会）」のテーマとして「グループホームや作業所の話など先輩保護者に話してもらうこと」、「リラックスしてわきあいあいとした雰囲気での話し合い」、「勉強会」、「オンライン併用」、「自己紹介は苦手」のスコアが高く評価されていました。「授業参観」もありました。

魅力的な保護者会の中で挙げられた「リラックスしてわきあいあいとした雰囲気」を大切に、参加しやすく、参加してよかったと思って頂けるように運営していく事が私達の役割であると思います。その工夫にも様々な方法がありますのでアイデアを出し合って、「自己紹介は苦手」という方がいてもお互いのことが知れるように考えて企画して参りたいと思います。

「自己紹介は苦手…」私も苦手なので…(^-^;お気持ちがあうとわかります。でもせっかくだから一言話していただけたらいいなと思い、願い、わきあいあいの雰囲気と作っていただけたらいいなと感じました。いろいろと取り組んでいきます。是非ともご参加下さい。

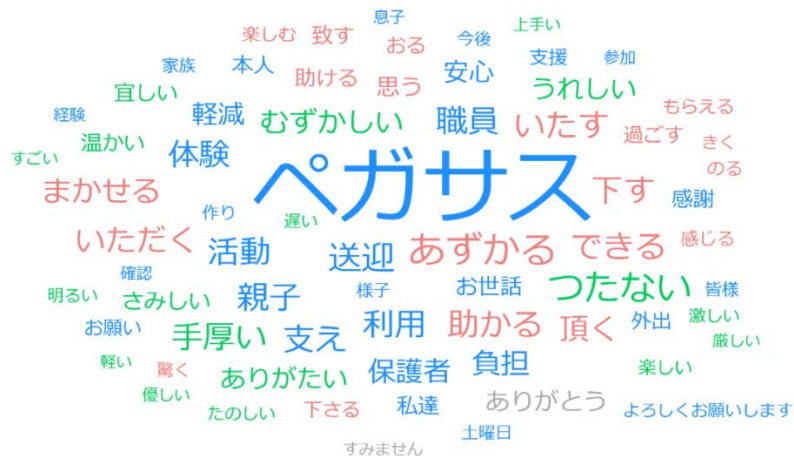


7. ペガサスへのご意見・ご要望

「ペガサスへのご意見・ご要望」を尋ねたところ、21名の方から記述形式で回答をいただきました（回答率 62%）。

「ペガサスへのご意見・ご要望」をテキストマイニング解析すると、たくさんの単語があがってきましたが、出現頻度が高く特にスコアが高い単語を選び出すことはできませんでした。

しかし、ペガサスをご利用いただき楽しんでいただけていることが出現頻度の高かった単語からよくわかりました。感謝申し上げます。



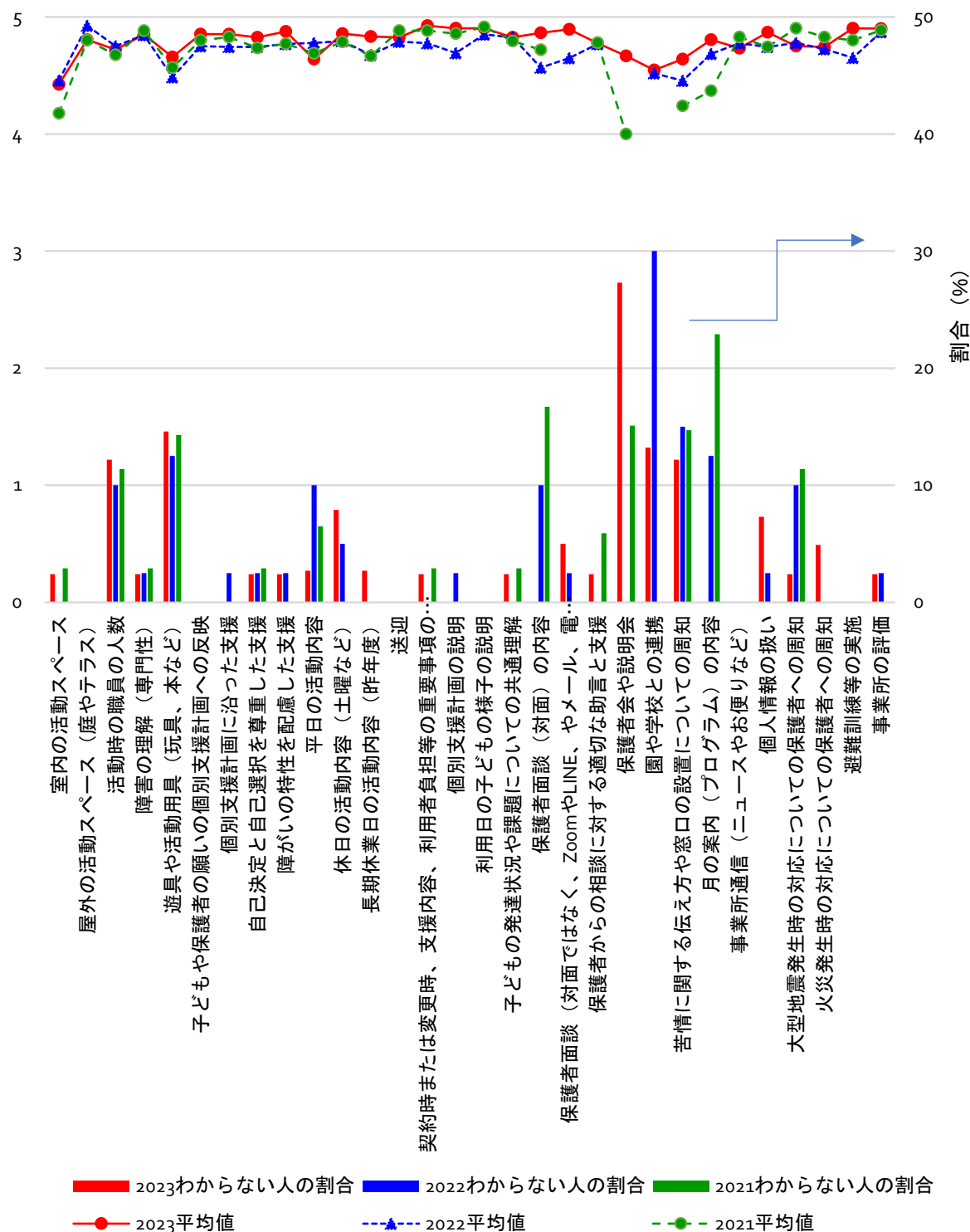
ペガサスでいつも心掛けている事、「子ども達・お母さん・ご家族を真ん中に」の想いを大切にといつも感じています。温かな思いが伝わりますように...と思っているのですが、今回もお母様方から沢山の温かなお言葉を頂きジーンと心が熱くなりました。ありがとうございます。また、今回のアンケートでは、丁寧にお答え頂いたことでより繊細な答えを頂いたと感じ、深く考えるきっかけを頂きました。信頼関係の深さのあらわれとも受け止められ「もっと！もっと！」と食欲に向き合い、安心の場となっていけますように...

子ども達が毎日楽しみに来てくれるペガサスとなっていけますように...、お母様が安心して送り出して頂ける事業所になっていけますように...、気楽に気さくに「ちょっと聞いてみよう！」と思って頂けるお母様方にとって一番身近な事業所となっていけますように精進して参ります。もっともっと沢山の工夫の実践で前進します！

(自閉症サポートセンター ペガサス職員一同)

9. 第2ペガサス

I 今年度の活動



今年度もアンケートをお配りしましたが、第2ペガサスはここ数年すべての方から回答をいただいております。ご利用いただいている方の中には、青葉会の他の放課後等デイサービスをご利用いただいている方、ご兄弟でご利用いただいている方もおり、一度に複数のアンケートに回答いただくことになりました。日々の家事、子育て、仕事などでお忙しい中でも、たくさんの項目に対して丁寧に回答をいただき、本当にありがとうございました。

毎年アンケートの回答を拝見しますと、共通質問では5点満点で平均値が4点を下回ることなく全体的に高評価をいただき、嬉しさと有難い気持ちでいっぱいです。その一方で、評価の低い項目やコメント欄に目を向けると、反省すべき点が見え、職員一同身が引き締まる思いでおります。貴重なご意見を無駄にすることなく、みなさまのご意見に応え、より良い支援につなげられるよう、職員一丸となって取り組んで参ります。

ここでは、今年度のアンケート結果で、「わからない」と答えた方が多かった項目と、他項目と比較して評価の低かった項目についてコメントさせていただきます。

1. 「わからない」の回答が多かった項目

①保護者会や説明会（全体の27.3%）

この項目は評価の低かった項目でもありました。例年、春に開催しておりましたがここ数年コロナ禍で開催が出来ず、昨年度はオンラインを活用して開催させていただきました。また今年度は5月に新型コロナが5類に移行したことで「数年ぶりに対面で！！」と、勢いよく計画をしましたが、保護者会のお知らせから開催日までの期間が短く、学校によっては予定が重なってしまいました。そのため参加者は少なく「わからない」という回答が多くなってしまいました。参加していただいた方からは、「先輩ママのお話を伺うことができた」「今の悩みを打ち明けられた」など、直接感想をいただきました。対面ならではの有意義な時間を過ごすことができ、アンケートの結果からも参加した方からは高い評価をいただくことができました。はじめは緊張した中で始まる保護者会でも、終わるときには保護者の皆さまの肩の力が抜け、表情が和らぎ、「参加してよかった！」とだけ思っていたような保護者会を、今後も開催したいと思っております。たくさんの方に参加していただけるよう、開催については工夫をしていきたいと思っております。

②遊具や活動用具（玩具、本など）（全体の14.6%）

この項目は評価の低かった項目で、同じように評価の低かった「平日の活動内容について」の項目にも含まれる内容なので、合わせてコメントさせていただきます。

コロナ禍で事業所内にお出でいただくことが少なく、遊具や玩具などを紹介する機会がなかったこと、また平日の放課後、子ども達の遊んでいる様子を毎月発行している「第2ペガサスニュース」でお伝えしきれていなかったことで、「わからない」の回答が多くなってしまったと思われます。第2ペガサスは広いテラスが自慢！キックボードやプラズマカーを乗り回すことができ、大きなトランポリンや平均台もあって、身体をたくさん動かして遊ぶことが出来ます。室内にはレゴブロックやアイロンビーズ、ジグソーパズル、プラレール、お世話をして遊べるお人形やパペット・・・書ききれないほどの玩具や教材があります。今年度は雨の日でも室内で跳べるようにテントウムシの柄の一人用トランポリンを購入しました。遊んでいる様子は連絡帳や送迎時のお話しでお伝えしておりましたが、イベント事にピックアップしてお伝えすることが多かった第2ペガサスニュースを見直し、何気ない日常を写真でお伝えしていけるようにしたいと思います。

2. 評価の低かった項目

①室内の活動スペース（5点満点中4.43点）

毎年この項目は低い評価となっております。第2ペガサスは家庭サイズの部屋が3部屋あります。たしかにここだけを見てしまうと狭く感じてしまいますが、藤ヶ谷ハウスは成人の余暇支援の事業所「トライアングル」と同じ施設内で、扉一枚で区切っています。活動時間が一緒になる事がないので、「静かなところで宿題やってくる」「広い部屋でボール遊びする」など、子ども達からのリクエストで開放したり、昼食や工作など、活動内容によって「第2ペガサスの部屋」「トライアングルの部屋」と、使い分けるなどしています。個別面談や保護者会などの機会に足を運んでいただき、是非藤ヶ谷ハウスの広さを体感して頂ければと思います。

②園や学校との連携（5点満点中4.55点）

ここ数年、個別支援計画作成前のアンケート「保護者の願い」の書類の中に、「学校との連携について」と記入欄を設けています。皆さんご心配されている食事や排泄、健康面など記入していただいております。記入されていなくても、学校にお迎えに行った際には先生から「元気です」「今日は〇〇を頑張っていました」という報告を受けています。その場で私たちも「よく頑張ったね!」「すごいね!」など子ども達に声を掛けることが出来ています。送迎以外でも関係者会議などがあるときには、学校、他事業所と共に積極的に参加し、情報共有をして参ります。

③苦情に関する伝え方や窓口設置についての周知（5点満点中4.64点）

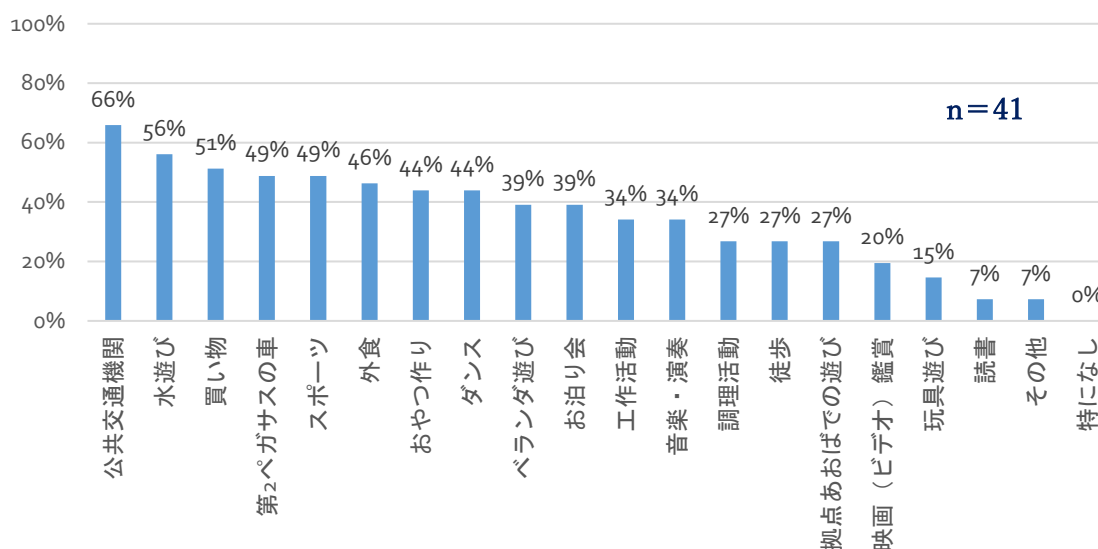
この項目も毎年評価の低い項目となっており、「わからない」の回答も少なくない項目です。契約時や保護者会において重要事項説明書をお配りし説明しています。今年度の保護者会は参加者も少なく、また、参加できなかった方への重要事項説明書のお渡しが遅くなってしまったことが、低評価につながったと思われます。重要事項説明書を開いていただくと、「苦情窓口担当者」が記載されております。「こんなこと気になるな」「どうしてこうなのかな？」など、気になる事があるときに相談を受け付ける窓口です。窓口担当者を設置していますが、身構えることなく話せる職員がおりましたら、担当以外でも気軽にお話してください。

II 今後やってみたい活動や期待すること

1. やってみたい活動

「やってみたい活動」について、例を列記し、選択を尋ねたところ、選択された割合が高い順番に、「公共交通機関」(66%)、「水遊び」(56%)、「買い物」(51%)、「第2ペガサスの車」(49%)、「スポーツ」(49%)、「外食」(46%)、「おやつ作り」(44%)、「ダンス」(44%)、「ベランダ遊び」(39%)、「お泊り会」(39%)、「工作活動」(34%)、「音楽・演奏」(34%)と多様なニーズのあることがわかりました。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、少しずつお買い物やボウリング、カラオケなど外出活動を取り入れ始めました。少しずつ活動の幅に広がりが出てきたところですが、記述欄には「あおばでの活動を続けてほしい」というコメントもありました。コロナ禍をきっかけに「拠点あおばでの遊び」の活動が定番化し、子ども達にとっては楽しい活動場所になっているようです。外遊びもできるので、これまでにサッカー教室や野球教室など、外でのスポーツも取り入れてきました。今後も子ども達が楽しめる活動を取り入れて参ります。

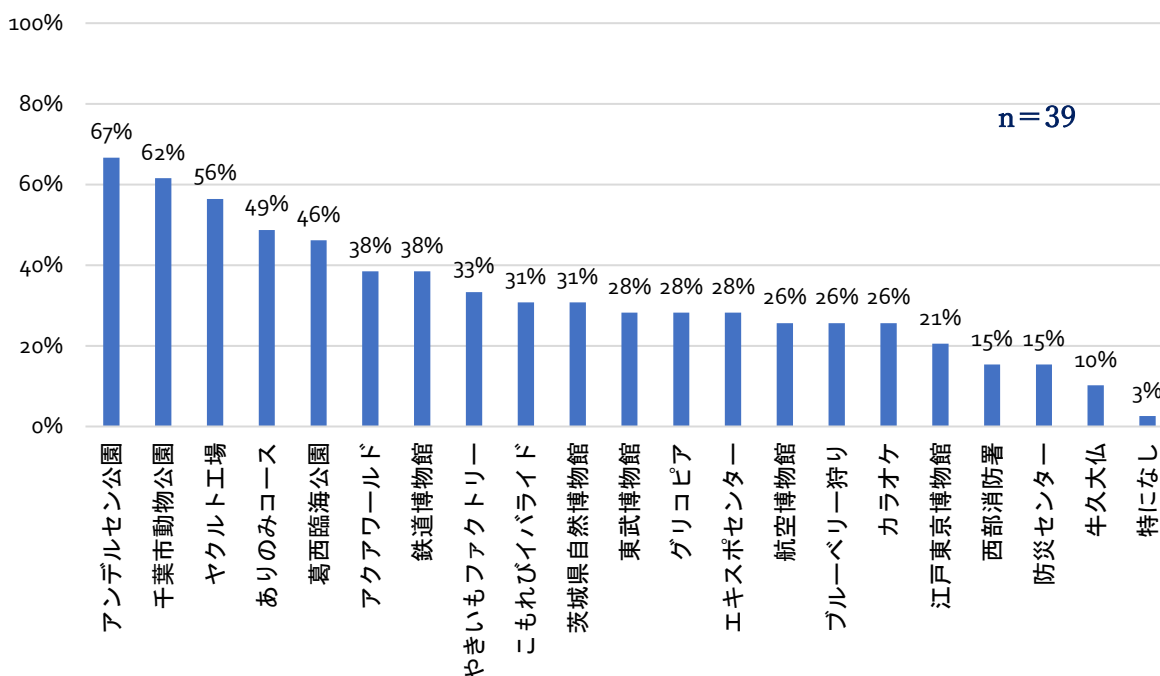


2. 第2ペガサスで取り組んできた活動でリクエストしたい活動

(1) リクエストしたい外出活動

「リクエストしたい外出活動」について、例を列記し、選択を尋ねたところ、選択された割合が高い順番に、「アンデルセン公園」(67%)、「千葉市動物公園」(62%)、「ヤクルト工場」(56%)、「ありのみコース」(49%)、「葛西臨海公園」(46%)、「アクアワールド」(38%)、「鉄道博物館」(38%)、「やきいもファクトリー」(33%)、「こもれびイバライド」(31%)、「茨城県自然博物館」(31%)と、「やってみたい活動」と同じく多様なニーズのあることがわかりました。

記述欄にはこれまでに活動として行ったことのない施設名も挙げられていました。たくさんのご意見を伺うことで、外出先の幅に広がりが出て来そうです。子ども達が家族以外の大人や友達との外出活動を通して、社会のルールやマナーを学びながら楽しい思い出が出来るように、感染状況を見ながら外出をしていきたいと思えます。



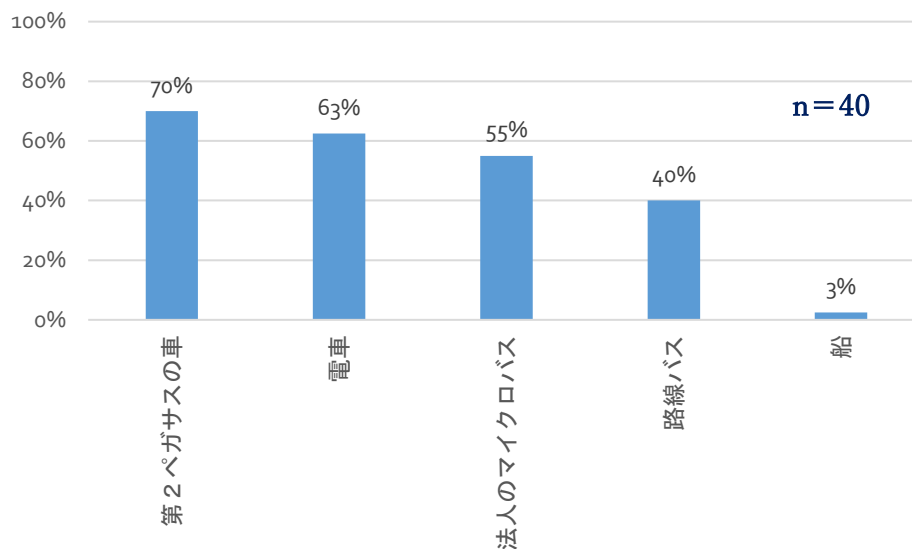
◆上記以外で行ってみたい外出活動

水ぞくかん/色々と見たり、楽しんでもらいたいです/アスレチックがあるような公園/バレーボール/キッズニアかカンドゥー(←個人で行くにはちょっと勇気が必要でして、、、)/青葉会の事業所見学(お仕事体験) ツアー/ウエルシアやマツキヨでの買い物体験/緑豊かな広い公園/ホームセンターで買物体験(そんなに大きなホームセンターでなくて良い。混雑していない方が良い。)/清水公園/野田のキッコマンもの知りしょうゆ館もなかなか良いですよ!近いし!/長期の時しか、遠方の活動がないと思うので、どこかに連れて行ってほしいです。とくに気になる!いってみたい!がヤクルト工場、カラオケ、鉄道博物館観たいです。

(2) 今後の外出活動で利用してみたい乗り物

「今後の外出活動で利用してみたい乗り物」について、例を列記し、選択を尋ねたところ、選択された割合が高い順番に、「第2ペガサスの車」(70%)、「電車」(63%)、「法人のマイクロバス」(55%)、「路線バス」(40%)でした。「船」を希望される方もいらっしゃいました。

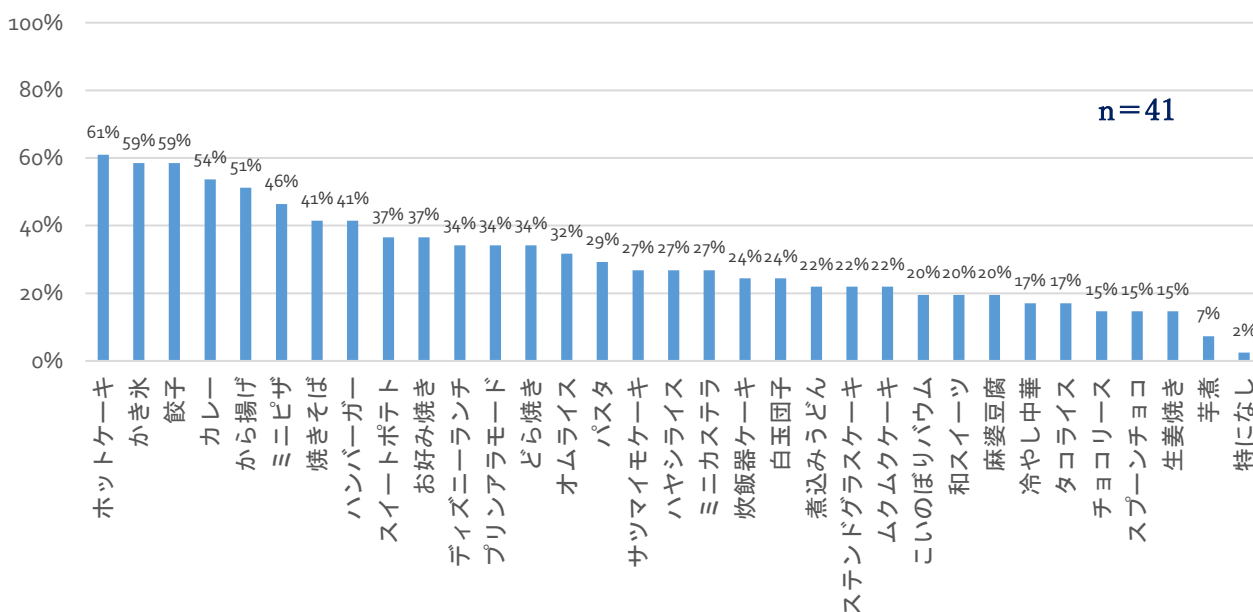
意外にも第2ペガサスの車で希望が多く、まだまだ感染症のご心配があると思われました。しかし、電車の希望も多いので状況を見ながら電車やバスを利用し、公共交通機関でのお出かけ体験もできるようにしていきます。



(3) リクエストしたい調理活動・おやつづくり

「リクエストしたい調理活動・おやつづくり」について、例を列記し、選択を尋ねたところ、選択された割合が高い順番に、「ホットケーキ」(61%)、「かき氷」(59%)、「餃子」(59%)、「カレー」(54%)、「から揚げ」(51%)、「ミニピザ」(46%)、「焼きそば」(41%)、「ハンバーガー」(41%)、「スイートポテト」(37%)、「お好み焼き」(37%)、「ディズニーランチ」(34%)、「プリンアラモード」(34%)、「どら焼き」(34%)、「オムライス」(32%)と多様なニーズのあることがわかりました。

調理活動はみんな大好きです！レシピを渡して、分量計算をし、計量出来る子もいれば、包丁を使える子、食材を洗える子、トッピングが出来る子、味見が出来る子・・・それぞれできる事は違っても、楽しい活動の一つです。いただいた案を参考に、これからも楽しい活動として取り入れていきます。



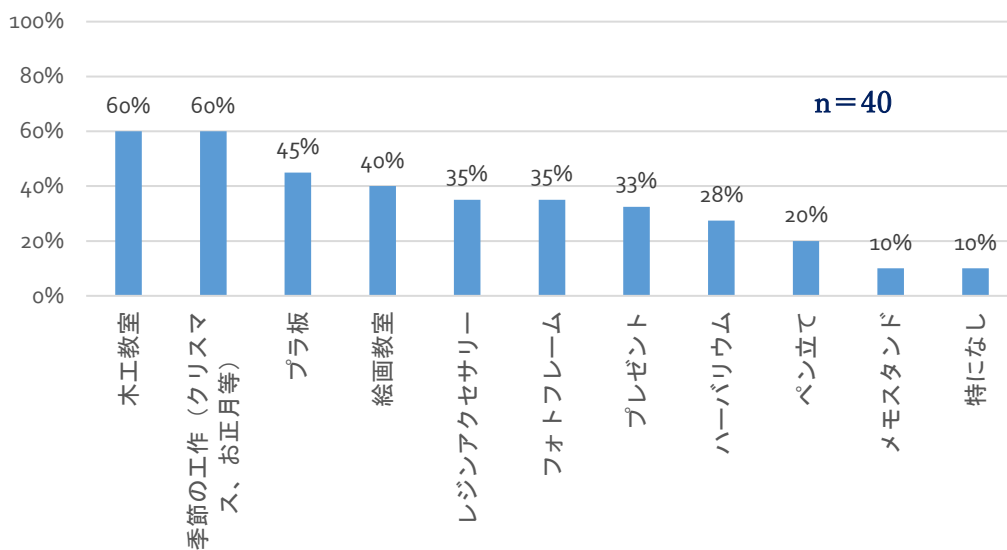
◆上記以外でやってみたい調理活動・おやつづくり

やきいも/グラタン/ラーメン/ホットケーキ大好きなので/巻き寿司/サンドイッチ/ラーメン/焼き肉/ハンバーグ/たこ焼き/おやつ全般/作って食べるのは楽しいと思います/どれも素敵なメニューなので上記以外では思いつかなかったのですが、、自分でトッピングしたり、調理に参加した感じになれるメニューはいいなと思います。/タコ焼き/ピザトースト/簡単なトーストにバターを塗るとか、トースターへ入れるとか出来そうな者にチャレンジ出来たら良いなと思います。家でも少しお手伝いしたり、楽しそうです/パフェ/ファミレス/おにぎりパーティー/フルーチェ

(4) リクエストしたい工作活動

「リクエストしたい工作活動」について、例を列記し、選択を尋ねたところ、選択された割合が高い順番に、「木工教室」(60%)、「季節の工作(クリスマス、お正月等)」(60%)、「プラ板」(45%)、「絵画教室」(40%)、「レジンアクセサリー」(35%)、「フォトフレーム」(35%)、「プレゼント」(33%)となりました。

これまでも工作活動を取り入れてきましたが、今後も様々な道具、材料に触れ、使って形にして「出来た!!」という達成感を味わえるような工作活動を行っていきます。



◆上記以外でやってみたい工作活動

ぬりえ/アイロンビーズ/クラフト工作/スライム/ダンボールでゲーム/楽器を作ったりしてみんなで演奏するのも楽しそうと思いました。/出来るはんいで一緒にやってくだと嬉しいです。/今、木工班で活動しているので、出来そうな活動があったら良いなあと思います。/ペタペタ貼って?何か作りたいそうです。

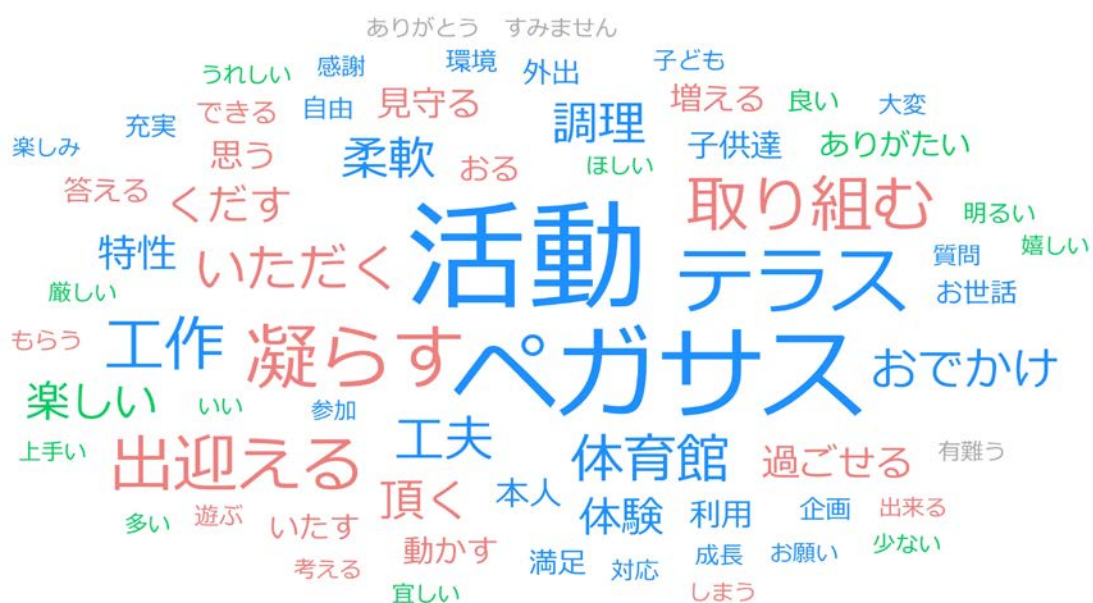
3. 第2ペガサスの活動についてご意見、ご感想

「第2ペガサスの活動についてご意見、ご感想」について記述形式で尋ねたところ、29名の方から回答をいただきました（回答率71%）。

いただいた自由記述の回答は、「AIテキストマイニング by ユーザーローカル」を使用してテキストマイニング解析を行いました。よく出現する単語ほど重視してスコアが高いと評価し、出現頻度が高くスコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさと中心から図示されています。また、単語の出現傾向が似た単語ほど近く、似ていない単語ほど遠く位置しています（以下、自由記述は、同じ解析を用いました。）。

「第2ペガサスの活動についてご意見、ご感想」として、「第2ペガサスらしい活動」や「テラスの活動」のスコアが大変高く評価され、次いで関連して「あおば体育館の活動」、「工作」も「おでかけ」、「体験」、「調理」、「過ごせる」、「工夫」、「出迎える」、「楽しい」、「柔軟」、「取り組む」、「見守る」、「特性」のスコアも高く評価されていることがわかりました。

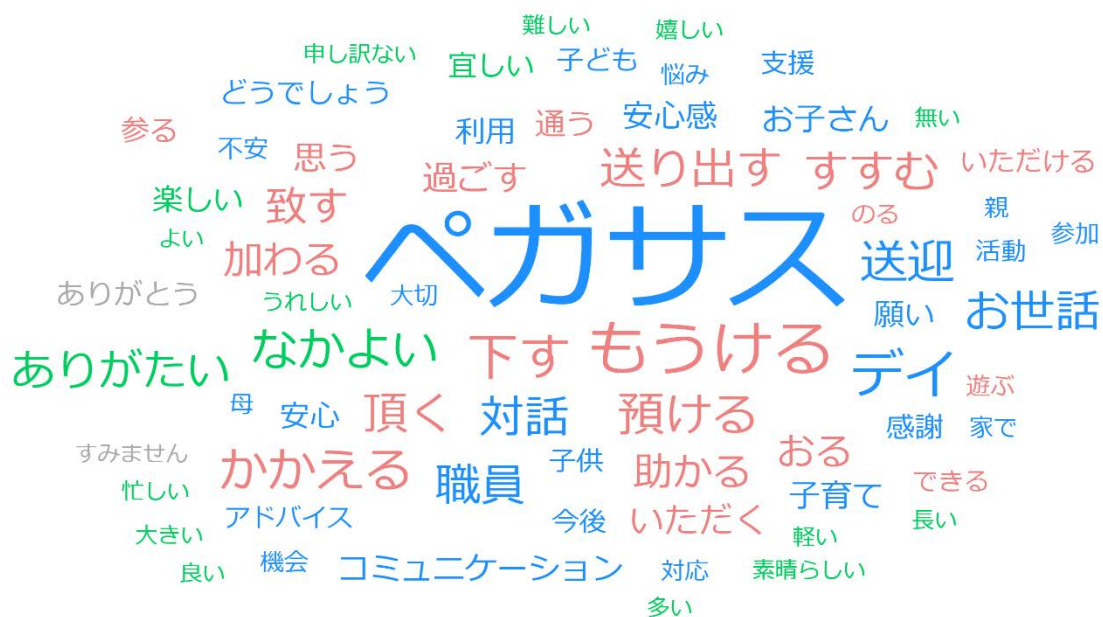
たくさんの方から嬉しい言葉をいただき、職員の励みになっております。いつも活動内容を会議で検討していますが、職員がワクワクしながらこれは出来るかな？難しいかな？どんなふう楽しめるかな？びっくりするかな？など、子ども達の姿を想像しながら話し合っています。今後も子ども一人一人の姿に合わせ、活動が楽しめるように取り組んでいきたいと思っております。



4. 活動内容以外についてご意見、ご感想

「第2ペガサスの活動内容以外についてご意見、ご感想」について記述形式で尋ねたところ、20名の方から回答をいただきました（回答率49%）。

「活動内容以外についてご意見、ご感想」をテキストマイニング解析すると、たくさんの単語があがってきましたが、出現頻度が高く特にスコアが高い単語を選び出すことはできませんでした。しかし、第2ペガサスをご利用いただき楽しんでいただけていることが出現頻度の高かった単語からよくわかりました。感謝申し上げます。



たくさんの資料に目を通していただき、ありがとうございました。今年度は職員の大きな異動があり、保護者の皆さまには不安やご心配の声をいただきました。そのような中でこれだけの高い評価のアンケート結果をいただけることは、職員にとって前に進んでいく力になります。記述式欄の意見の中には「親子イベント」の希望や、「大人の数が必要な時には保護者からお手伝い要因を募集もありかな」というものもありました。今回の結果は保護者の皆さまの、活動への関心の高さを知るきっかけにもなりました。

コロナによってストップを掛けられていたことが徐々に解禁になり、第2ペガサスもアクティブに動き始めました。コロナ前と同じではなく、レベルアップした内容を展開していけるように、職員一丸となって子ども達の為に頑張る参りますので、どうぞよろしく願いいたします。

(第2ペガサス職員一同)